## 1. 榎戸一号橋

別紙2 様式1様式2

極沙女, 昕在地, 篼 珥 老女 箕

倘米石" 师仕吧" 官理白石寺						
<b>括</b>	か 44 44	<b>胎</b> 女	110	およる 権度	35°26′13.96″   橋梁ID	橋梁ID
₽ 		레. H. IV	<u> </u>	に Mi 経度	139° 57′ 38.99″	139° 57' 38.99"   35.43721,139.96083
複戸一号橋 (フリガナ)エノキドイチゴウハシ	奈良輪19号線	袖ケ浦市奈良輪902地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下:	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	道 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.11.6	奈良輪第一雨水幹線	有	— <del></del>	三次	水道管

部材単位の調	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		定期点検者		開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ι					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

定期点検時|

(所見等) 判定区分) 道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

PC単純プレテン床版橋、逆T式橋台2基 6.00m 幅員 **21m** 橘馬 2017年 架設年次 **喬梁形式** 



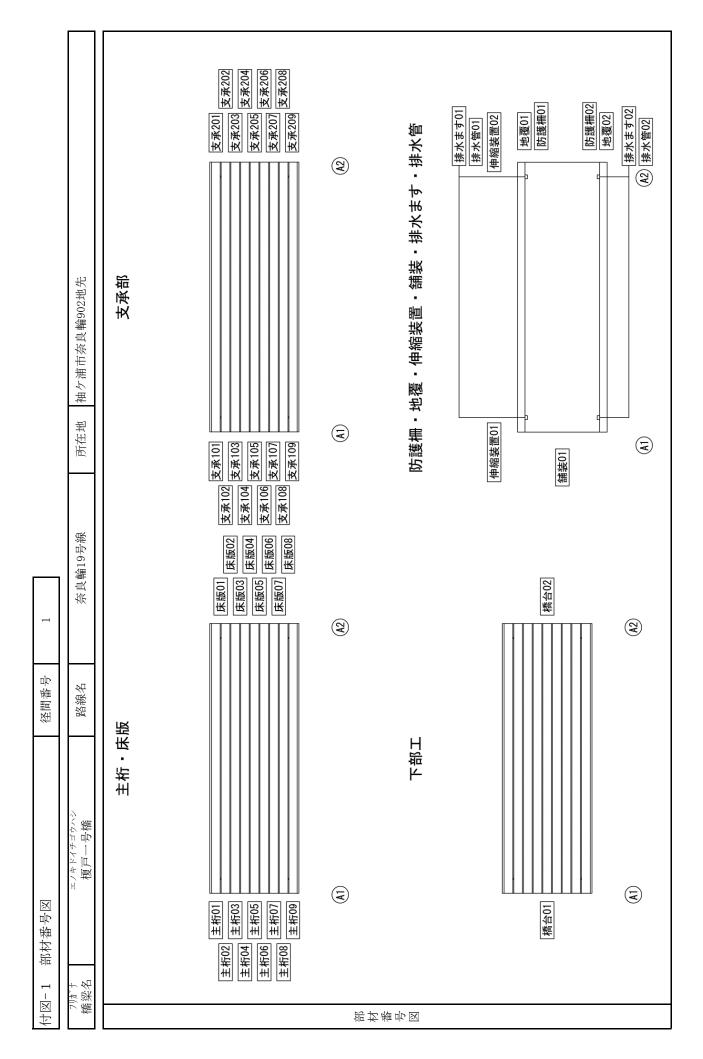
終点側



起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:



# 2. 榎戸二号橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左帖, 等阻考タ笙

橋梁名• 所名	橋梁名 -	*						
橋梁名			路線名	所在地		起点側 緯度 経度	35° 26′ 12.41″ 139° 57′ 34.85″	橋梁ID 35,43678,139,95968
複戸二号橋 (フリガナ)エ	夏戸二号橋 (フリガナ)エノキドニゴウハシ	§ ∮	奈良輪18号線	袖ケ浦市奈良輪891地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.6	奈良輪第一雨水幹線	有	— <del>舣</del> 道	三次	祟
部材単位の	診断(各部材毎		の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	ゴニ記録				応急措置後に記録	<b>己</b> 錄		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	井	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I			- 1			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

一個員	ա00 <sup>.</sup> 9		式橋台2基
橋長	11m		メン橋、逆Ti
架設年次	2016年	橋梁形式	SRC門型ラー.





田田

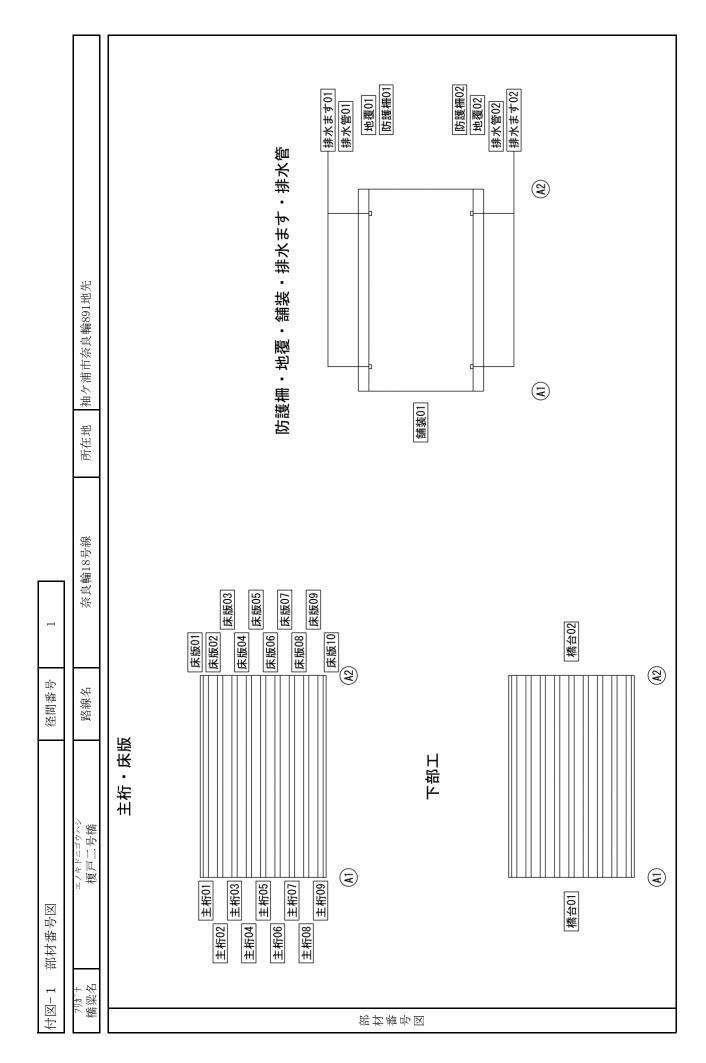
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:



# 3. 下谷橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名,所在地,管理者名等

倘笑名, 师仕吧, 官埋有名寺						
<b>梅</b> 沙 夕	女 64 夕	<b>胎</b>	-#	おらる   権度	35°26′10.90″   橋梁ID	" 橋梁ID
K	나 Xei '라		<u> </u>	-		139° 57′ 30.64″ 35.43636,139.95851
下谷橋 (フリガナ)シタヤハシ	奈良輪高須新田線	袖ケ浦市奈良輪872-1地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下	路下条件	代替路の有無 📔	自專道or一般道	道 緊急輸送道路	各 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.11.6	奈良輪第一雨水幹線	有	·般道	三次	上水道,東京ガス NTT

定期点検者 開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑 雄一朗 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時	に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部							
その他		Ι					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等) [ 道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること) おまた 上屋 一 「 」 「 」

架設年次橋長幅員2017年11m8.00m橋梁形式SRC門型ラーメン橋、逆T式橋台2基



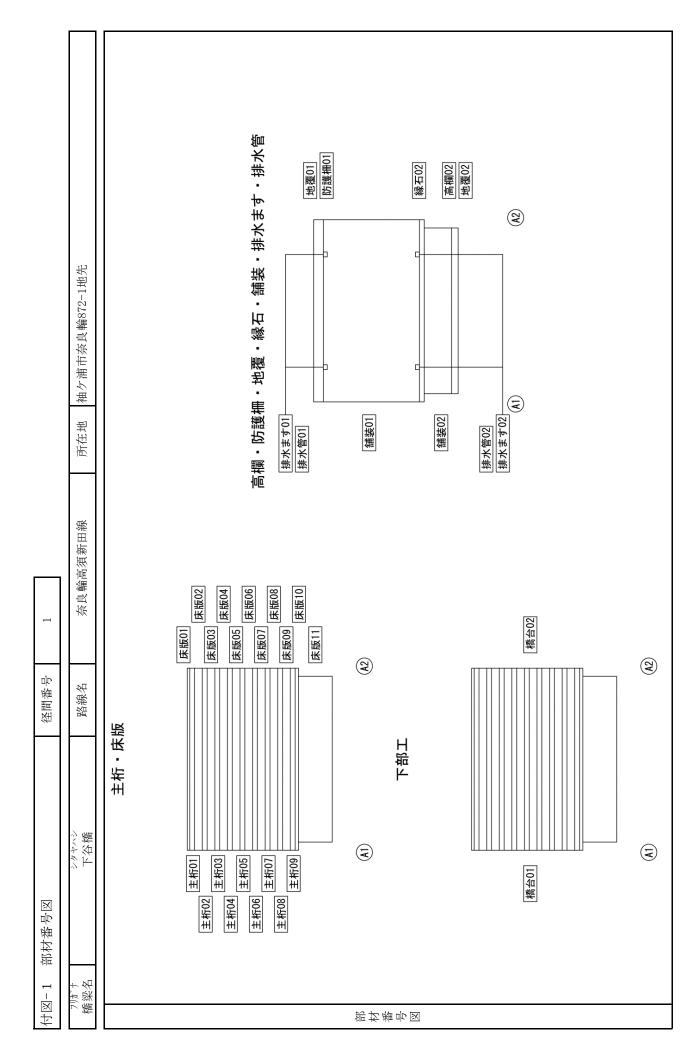


終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

【判定区分: 上部構造( その他( 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 上部構造( )【判定区分: 】 支承部【判定区分:



## 4. 飯富 1 号橋

別紙2 様式1様式2 梅沙名・昕な地・管理者名等

<b>橋梁名·</b>	橘梁名 -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
橋梁名			路線名	所在地		起点側 緯度 経度	35° 24′ 57.60″ 139° 58′ 36.55″	橋梁ID 35.41600,139.97682
飯富1号橋 (フリガナ)イ	飯富1号橋 (フリガナ)イイトミイチゴウハシ	·	飯富18号線	袖ケ浦市飯富71地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.8	川旦杰	<b>声</b>	—般道	三次	不明
部材単位の	診断(各部材毎)	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	なと(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	「こ言己録				応急措置後に記録	3.金		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	土桁	Ι						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		Ι						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



架設年次	橋長	首剛
1994年		2.00m
橋梁形式		
PC単純プレテ	-ン床版橋、7	不明





終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分が II、IIIXIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

判定区分 土砂詰まり 舗装 判定区分 その他(舗装) 写真1

	所在地 袖ケ浦市飯富71地先	支承部	支承101	(A2)	<td c<="" color="1" rowspan="2" th=""></td>	
	飯富18号線			(AZ)		
部材番号図	// / / / / / /	主桁・床版	102 主析01 104 主析03 106 主析05 108 主桁07	(A1)	橋台01	
付図-1 部杉	7世7年 橋梁名		主析02 主析04 主析06 主析06	는 수 기교 +	2 悔 巾 図	

## 5. 飯富第2号橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名 所名	橋梁名·所在地·管理者名等	歩			,	,		
椅梁名			路線名	所在地		起点側 緯度 経度	35°24′47.92″ 橋梁ID 139°59′02.40″ 35.4133	橋梁ID 35.41331,139.98400
飯富第2号橋 (フリガナ)イ4	<b>販富第2号橋</b> (フリガナ)イイトミダイニゴウハシ	ウハシ	飯富20号線	袖ケ浦市飯富919地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.8	川旦畝	有	—般道	三次	水道管、上水道
部材単位の	診断(各部材毎)		の診断結果を記入)		E	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑	などに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	1. 金子		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		I			ri .			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

=

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	5.00m		不明
橋長			・ンT桁橋、イ
架設年次   橋長   幅員	1996年	橋梁形式	PC単純プレテ





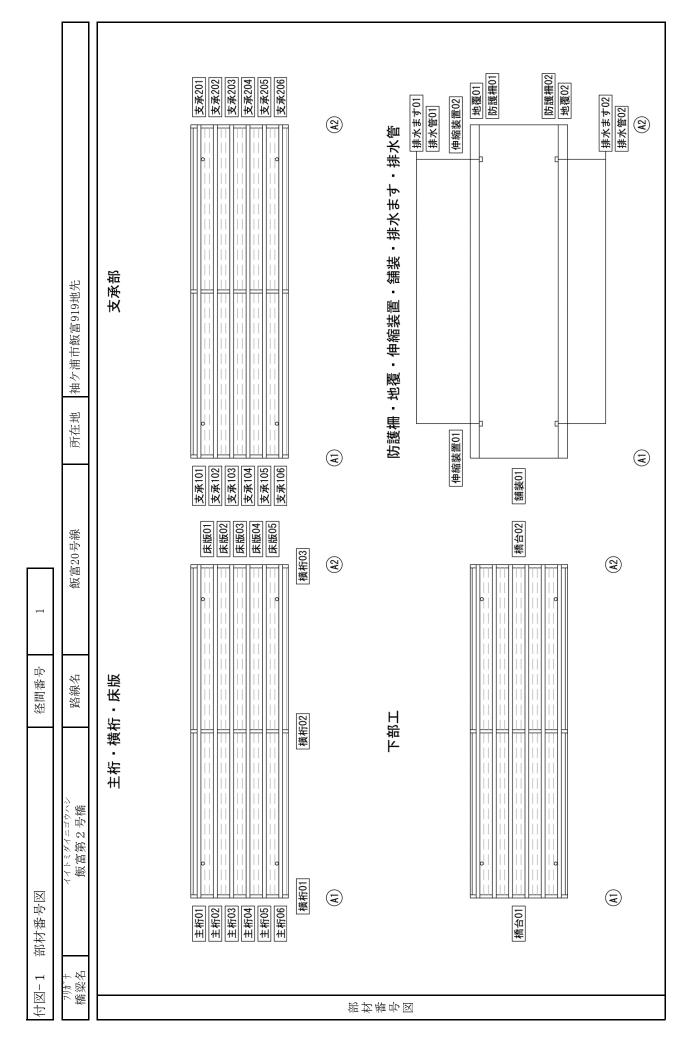
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その街

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分が II、III 又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 土砂詰まり 雏羰 判定区分 写真1



## 6. 飯富3号橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名· m 在地· 管埋有名等						
接泖夕	4 6 8 8 9	<b>叶</b> 华			35°24′43.27″ 橋梁ID	橋梁ID
K	五字石	71.1H JU	- A - A - A - A - A - A - A - A - A - A	n 経度	139°59′15.25″	59' 15.25" 35.41202,139.98757
飯富3号橋(コニボナングにません)	飯富27号線	袖ケ浦市飯富1110地先				
ノロナノ・エノ ハンコトレノ ハスハノ						
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無 自専	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.11.8	川旦盐	有 一般道	Jumi	三次	不明

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一朗

定期点検者

定期点検時	(こ記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	<b>土</b> 桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		п	土砂詰まり	写真1舗装			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

定期点検時に

(所見等) 判定区分)

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

5.00m 幅員 PC単純プレテン床版橋、不明 18m 橋馬 2002年 橋梁形式 架設年次





国出

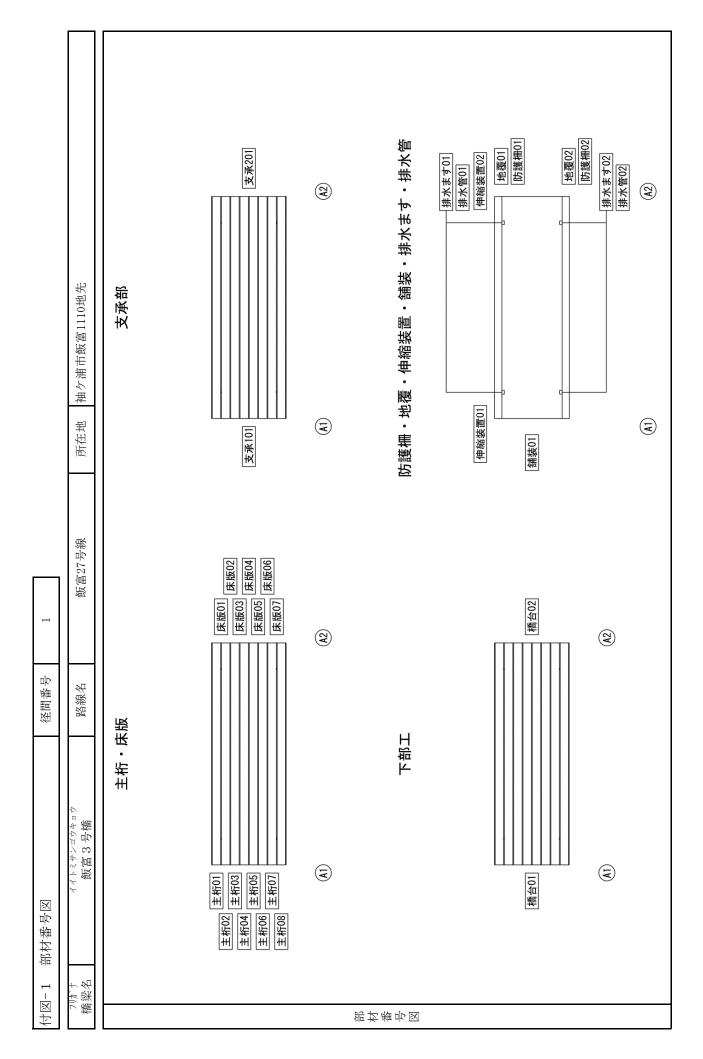
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

判定区分 土砂詰まり 雏羰 判定区分 写真1



## 7. 下新田橋

別紙2 様式1様式2 棒渉タニケ地 毎期

橋梁名 所名	橋梁名 所在地 管理者名等	]等						
椅梁名			路線名	所在地		起点側續度	35° 24′ 37.44″	橋梁ID
							139 59 42.72"	35.41040,139.99520
下新田橋 (フリガナ)シ	下新田橋 (フリガナ)シモニッタハシ		粉田7号線	袖ケ浦市下新田8-1地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.8	川旦武	有	— <del>舣</del> 道	三次	不明(2条)
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	<b>记</b> 錄		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 (こ記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	上桥	I			,			
	横桁							
	床版	I						
下部構造		Ι			,			

写真1舗装

土砂詰まり

=

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



帽員	9.33m		不明
橋長	14m		ン床版橋、
架設年次	1994年	橋梁形式	PC単純プレテ





正明

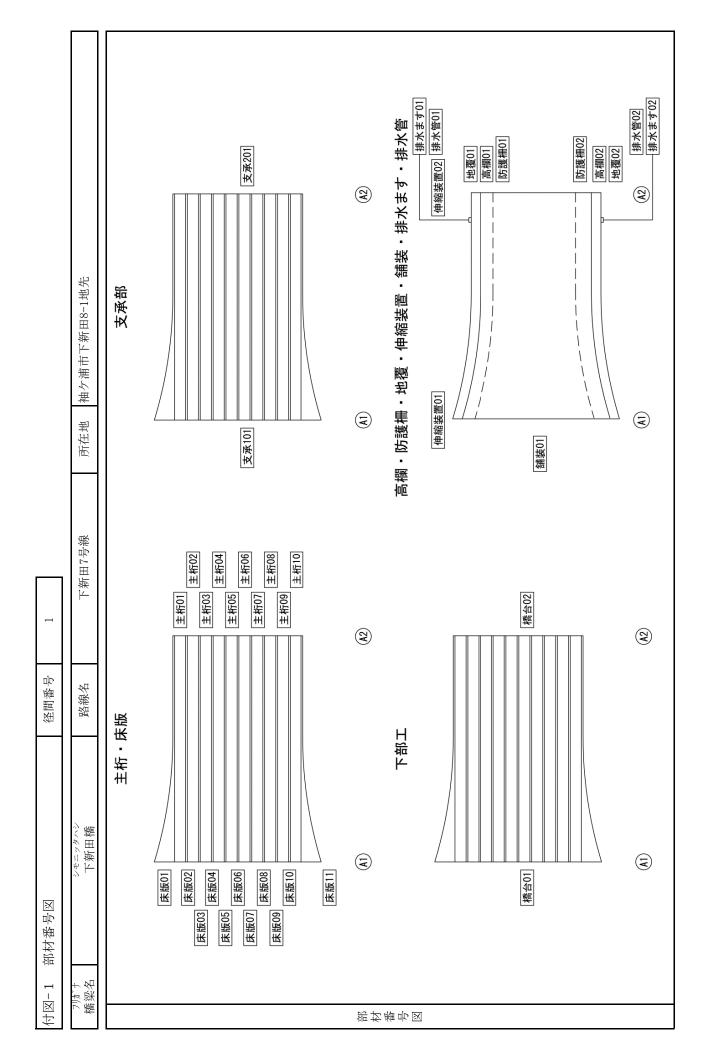
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その街

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分が II、III 又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 土砂詰まり 雏羰 判定区分 写真1



### 8. 蔵波新堰橋

別紙2 様式1様式2 接渉タニケザー毎

橋梁名,所在地,管理者名等	]等						
<b>捧</b> 莎 夕		女 62 女	比女	#	およる 権度	35° 26′ 04.88″	橋梁ID
₽ ₩		五字石	의 보니?	<u> </u>	rm in 経度	140° 01′ 38.96″	140° 01′ 38.96″   35.43469,140.02749
蔵波新堰橋  (フリガナ)クラナミシンセキバシ	F/沙	蔵波36号線	袖ケ浦市蔵波3311-42地先				
管理者名		定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無 自専道or一般道	自専道or一般道		緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市		2023.11.14	蔵波川	有	— <del>舣</del> 道	三次	水道、ガス
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	に最も厳しい健全性	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサル	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録				応急措置後に記録	绿		
	\(\frac{1}{2} = \frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2}	変状の種類	備考(写真番号、	9 % 图 井 4 十	•		1 1 1 1 1

疋期 点 傾 時 に 記 球	こ記録				心忌指直後  こ記球		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版						
下部構造		I					
支承部							
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

(所見等) 定期点検時| 判定区分)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

4.60m <u> 現場打ちボックスカルバート(2連)</u> 幅員 8m 橋長 架設年次 不明 橋梁形式

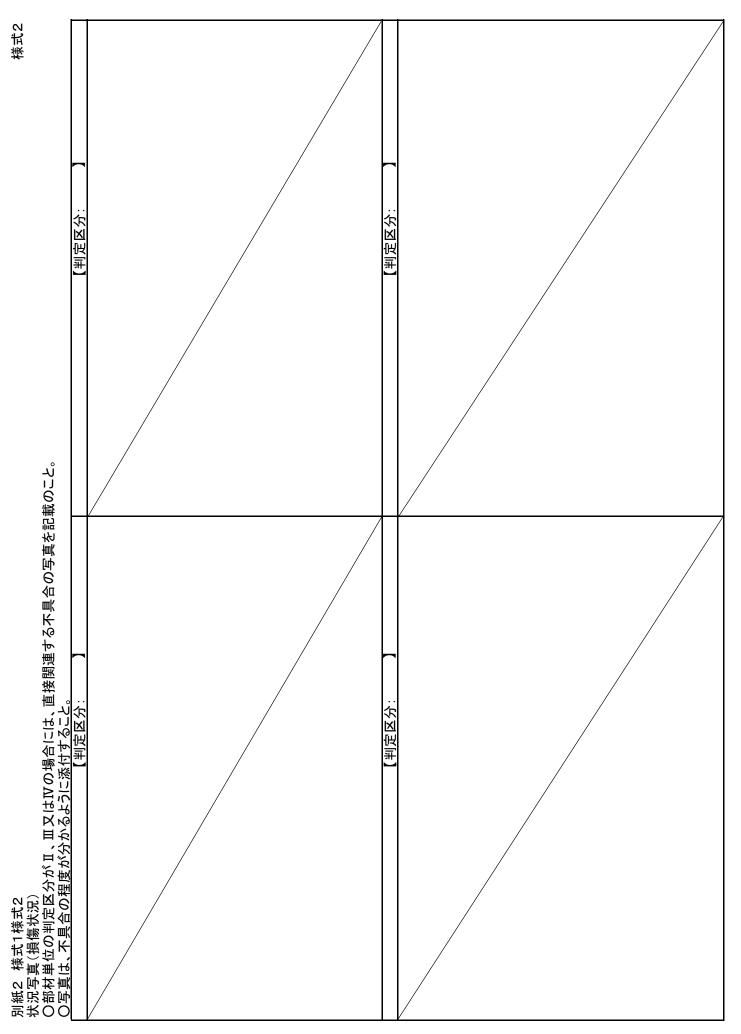






起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。



	所在地 袖ケ浦市蔵波3311-42地先	防護柵・地覆・舗装	加養価の   上の   上の   上の   上の   上の   上の   上の	
1	蔵波36号線			
径間番号	路線名			橋脚02
部材番号図	クラナミシンセキバシ 蔵汝新堰橋	出	主析01 (A1) (P1)	下部工 橋台01 (A1) (P1)
付図-1 部	<u>フリハ</u> ゙ナ 橋梁名		图 全	

	所在地   袖ケ浦市蔵波3311-42地先	防護柵・地覆・舗装	世遷01	
2	蔵波36号線			
径間番号	路線名			橋台02
部材番号図	クラナミシンセキバシ 蔵改新堰橋	上 上 上	直标01 Pl (A2)	(P1) (A2)
付図-1	<u>フリス</u> ゙ナ 橋梁名		岩 友 梅 • o 図	
₹,			· 拉 ★ № 元 区	

# 9. 下新田3号橋

別紙2 様式1様式2 棒渉タニケ地 毎期

橋梁名 所名	橋梁名 所在地 管理者名等	]等						
橋梁名			路線名	所在地	五	起点側 緯度	35°24′36.47″ 橋梁ID 130°59′4733″ 35.4101	橋梁ID 35 41013 139 99648
下新田3号橋(フリガナ)ショ	下新田3号橋 (フリガナ)シモニッタサンゴウキョウ	ゴウキョウ	下新田6号線	袖ケ浦市下新田69-2地先		XX	3	5
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無  自	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.9	三旦飲	本 	一般道	三次	#
部材単位の	診断(各部材毎		の診断結果を記入)		<u></u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑	ント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	録		
部材名		判定区分 ( I ~ IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	上桥	Ι						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

|土砂詰まり、その他 |写真1 舗装

=

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次 橋長 幅員	橘長	帽員
2003年	14m	5.03m
橋梁形式		
PC単純プレテ	ン床版橋、	不明

全層





国出

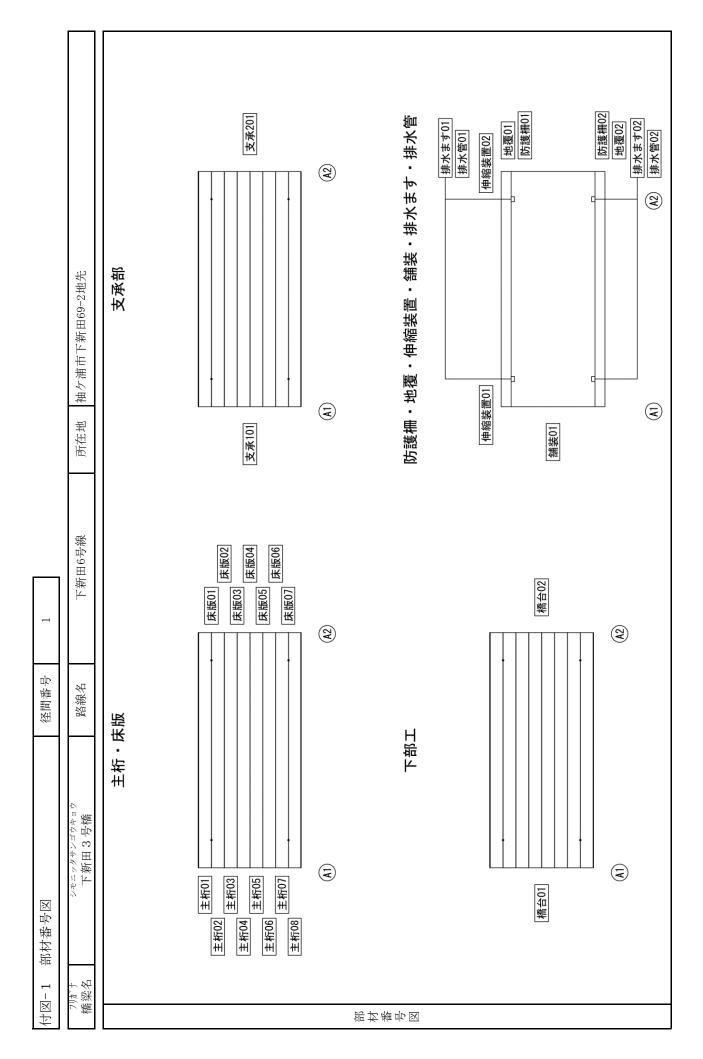
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

その街 支承部

判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 土砂詰まり 舗装 判定区分



## 10. 下新田 4 号橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左地, 等理考タ等

橋梁名• 所名	橋梁名	(法)						
橋梁名			路線名	所在地	平	起点側 緯度	35° 24′ 34.52″ 橋梁ID	橋梁ID 35 40050 130 00003
						延迟	33	53.40939,159.99902
下新田4号橋  (フリガナ)シ=	下新田4号橋 (フリガナ)シモニッタヨンゴウキョウ	<u>i</u> ウキョウ	三ツ作5号線	袖ケ浦市三ツ作761地先				
管理者名			定期点検実施年月日	曰 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.9	泽戸川	世	一般道	三次	不明
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u>世</u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑	なント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	録		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I			11			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	5.00m		不明
橋長	14m		ン床版橋、
架設年次	1998年	橋梁形式	PC単純プレテ



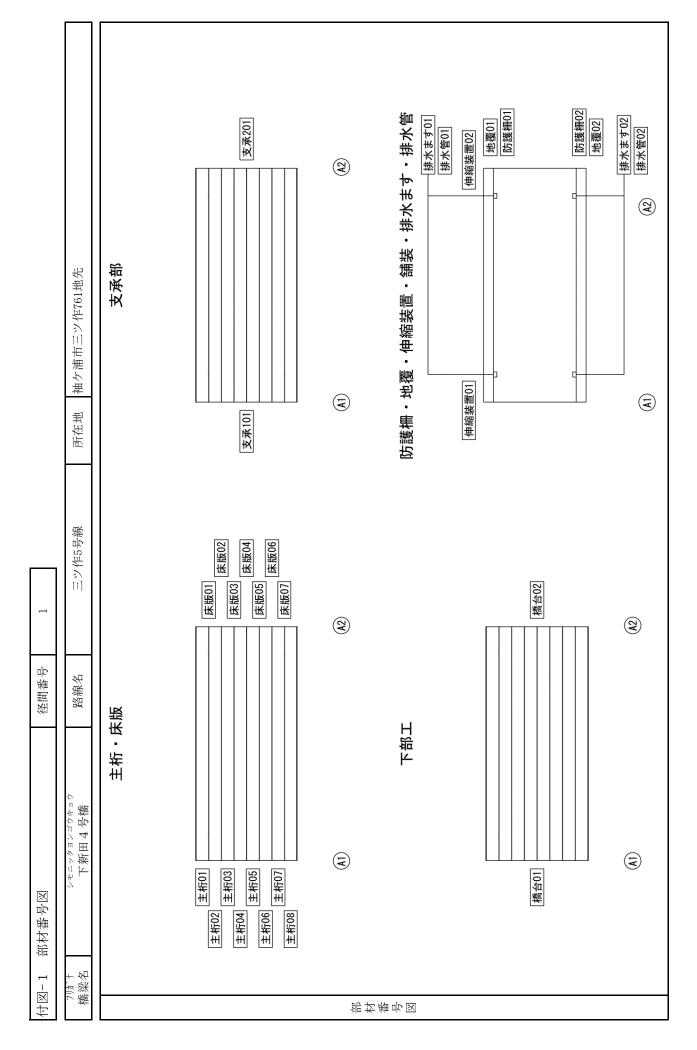


終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分が II、IIIXIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 土砂詰まり 雏羝 判定区分 写真1



## 11. 三ツ作橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左地, 等理考タ 筆

福梁名 마石	槅梁名:	5等						
橋梁名			路線名	所在地		起点側 緯度 経度	35° 24′ 32.62″ 140° 00′ 05.58″	橋梁ID 35.40906,140.00155
三ツ作橋 (フリガナ)ミツザクハシ	ツザクハシ		三ツ作6号線	袖ケ浦市三ツ作448地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	1 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.9	川旦武	<b>声</b>	—般道	三次	不明(3条)
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		- 1	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	なント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	(こ記録				応急措置後に記録	己鍒		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ι						
	横桁							
	床版	Ι						

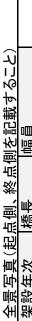
道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

=

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



幅員	9.32m		不明
橋長	14m		ン床版橋、
架設年次	1992年	橋梁形式	PC単純プレテ





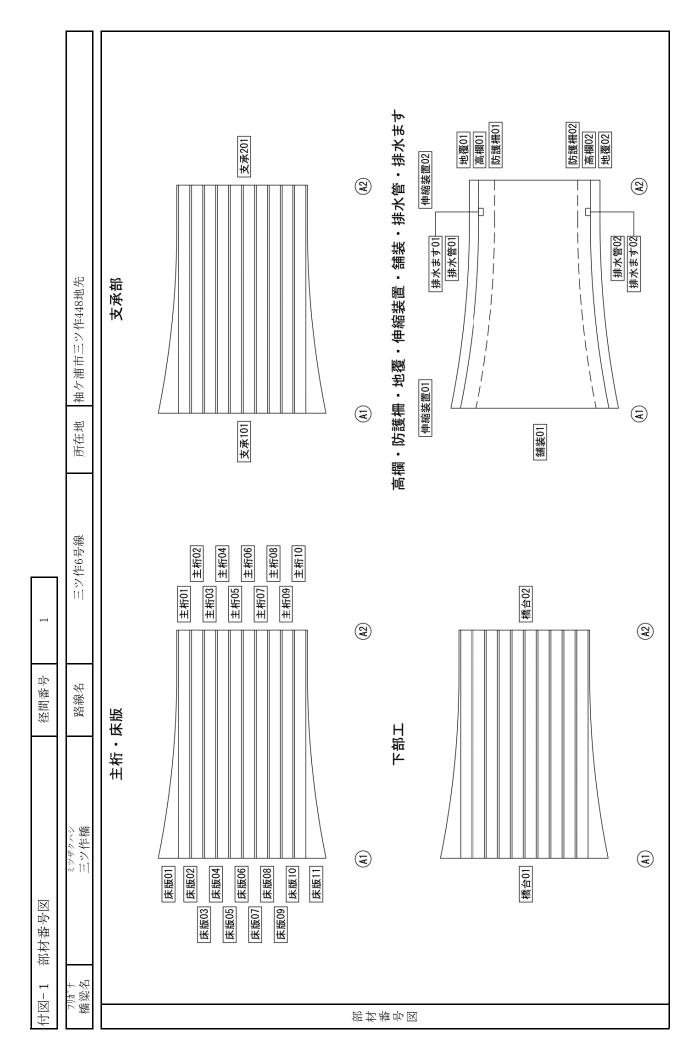
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造 支承部 その他

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 土砂詰まり 雏羝 判定区分 その他(舗装)| 写真1



# 12. 三ツ作 2 号橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左地, 等理考タ等

<b>福架名·</b> 加仕:	橋梁名·	法						
橋梁名			路線名	所在地	五	起点側檢查	35° 24′ 29.81″	
						<b>胚</b> 及	140 00 19.22	33.40626, 140.00334
三ツ作2号橋  (フリガナ)ミツザクニゴウハシ	ノザクニゴウィ	٠٠٠	三ツ作7号線	袖ケ浦市三ツ作5地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無  自	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.9	泽戸川		一般道	三次	不明(2条)
部材単位の影	诊断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u>世</u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	なント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	二言己録				応急措置後に記録	渌		
部材名		判定区分(I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

=

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	5.00m		不明
橋長	14m		ン床版橋、
架設年次	1999年	橋梁形式	PC単純プレテ

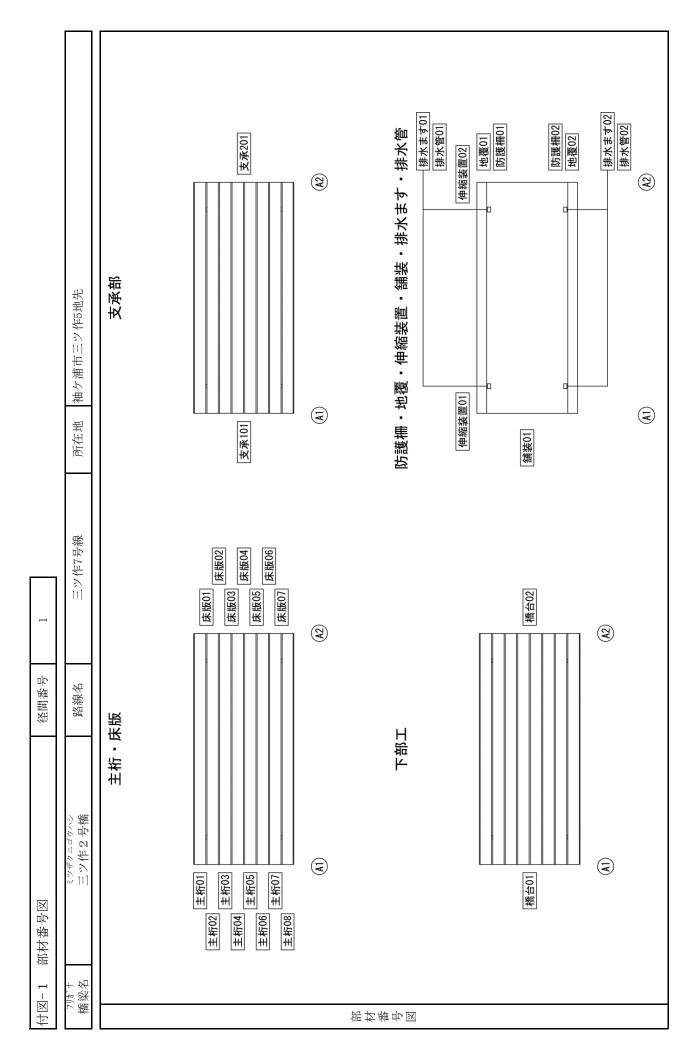




終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 土砂詰まり 雏羰 判定区分 写真1



### 13. 勝 2 号橋

別紙2 様式1様式2 棒渉クニケル 無

橋梁名·所名	橋梁名 所在地 管理者名等							
極沙女			及總名			おら側	35°24′24.01″ 橋梁ID	橋梁ID
4 €						<b>后</b>	140° 00′ 46.51″	35.40667,140.01292
勝2号橋 (フリガナ)カ	券2号橋 (フリガナ)カツニゴウハシ		大曽根18号線	袖ケ浦市大曽根432地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	道 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.10	川旦故	有	一般道	三次	不明(2条)
部材単位の	診断(各部材毎)	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		Ι						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



架設年次	橋長	幅員
1997年	11m	5.00m
橋梁形式		
PC単純プレテ	・ン床版橋、	重力式橋台2基



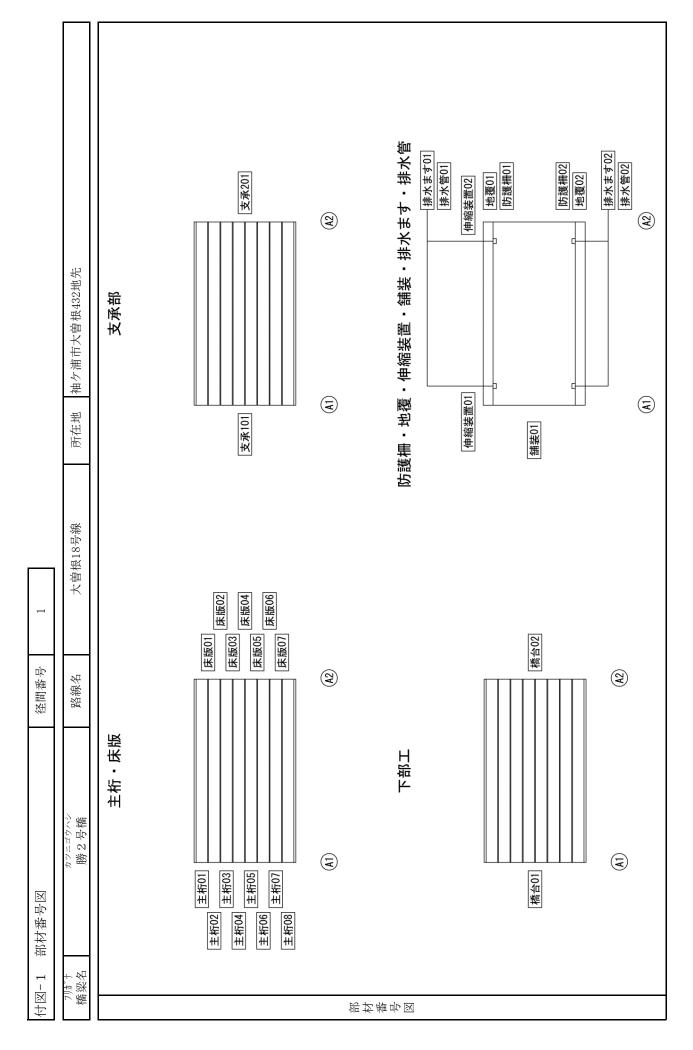


終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分が II、IIIXIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 土砂詰まり 雏羰 判定区分 写真1



#### 14. 勝橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左地, 等理考タ 筆

椅梁名• 肷4	橋梁名 -	非						
椿梁名			路線名	所在地		起点側 緯度	35°24′22.10″橋梁ID 140°00′55.66″35.4061	橋梁ID 35.40614,140.01546
勝橋 (フリガナ)カシバシ	19.18		代宿横田線	袖ケ浦市勝118-2地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.6		有	— <del>舣</del> 道	三次	下水道
部材単位の	診断(各部材毎)		の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	(こ記録				応急措置後に記録	己鍒		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	计	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		Ι						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

写真2 排水管

腐食、欠損、土砂、その他 写真1 舗装

 $\blacksquare$ 

定期点検時に記録

(所見等) (判定区分)

舗装に土砂詰まり、植生、排水管に腐食、欠損が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1992年	11m	11.70m
橋梁形式		

PC単純プレテン床版橋+RC単純床版橋(場所打ち)、不明





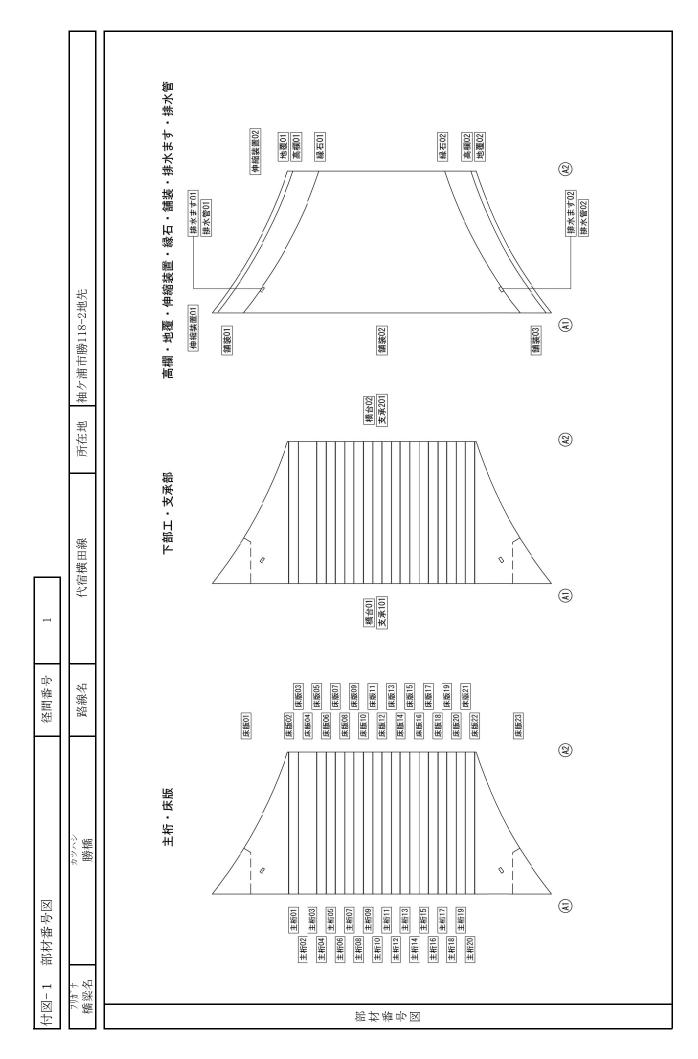
国出

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

変形・欠損 腐食、 排水管 その他(排水管) [判定区分: 判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 | 写真2 舗装 土砂詰まり、その他(植生) 判定区分:



## 15. 上泉定度橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左地, 等理考2 筆

<b>福梁名·</b> m4	橋梁名·	]						
<b>唇梁名</b>			路線名	所在地	24	起点側標度	35° 24′ 27.76″	
							140°03′02.81″	35.40771,140.05078
上泉定度橋 (フリガナ)カ	上泉定度橋 (フリガナ)カミイズミジョウドバシ	ドバシ	上泉16号線	袖ケ浦市上泉1345地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無  自	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.13	[7	有	般道	三次	不明
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		定	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タント(株) 漆笛 雄一郎
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	ᅶ		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

一個員	12.00m		不明
橋長	11m		・シェ桁橋、イ
架設年次	1985年	橋梁形式	PC単純プレテ





国田

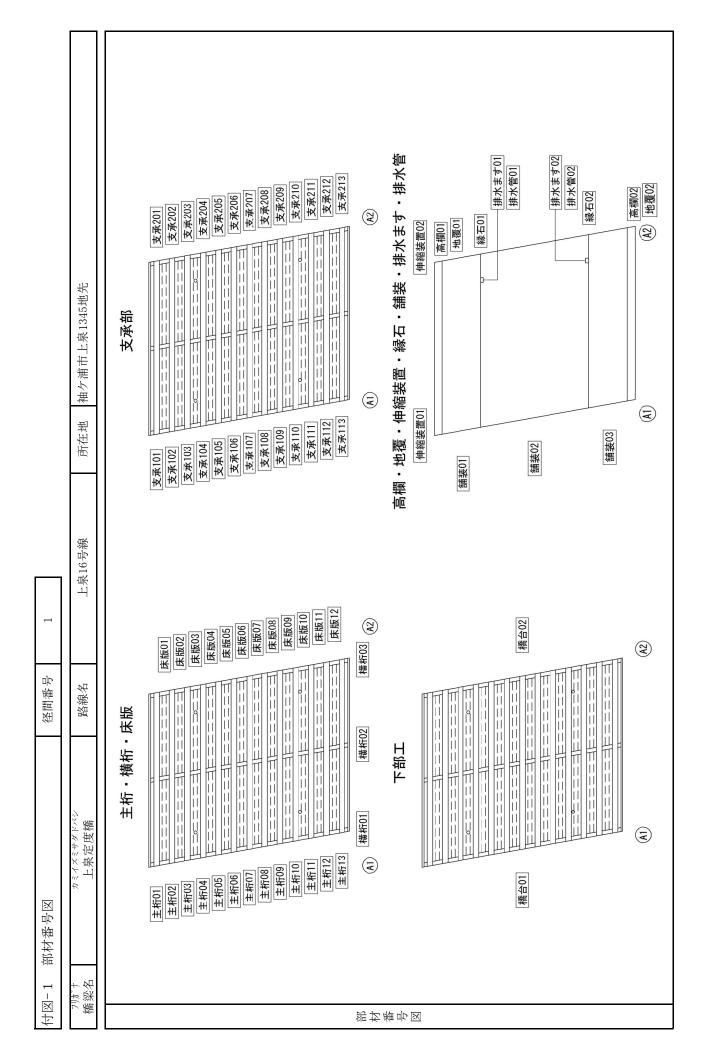
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その街

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分



### 16. 新王橋

別紙2 様式1様式2 接30夕 記方地 無理

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	,等						
椿梁名			路線名	所在地		起点側 緯度	24′	橋梁ID
I						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	140° 03′ 25.34″	35.41293,140.05704
新王橋 (フリガナ)シンノウバシ	シンウバシ		永吉上泉線	袖ケ浦市永吉223地先				
管理者名			定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.13	松川	有	一般道	三次	不明(2条)
	,					1		
部材単位の	診断(各部材毎	に最も厳しい健全性	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	记録		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁	I						
	床版	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

恒員	1.00m		台
橋長	14m		ンT桁橋、イ
架設年次	1993年	橋梁形式	PC単純プレテ





田田

終点側

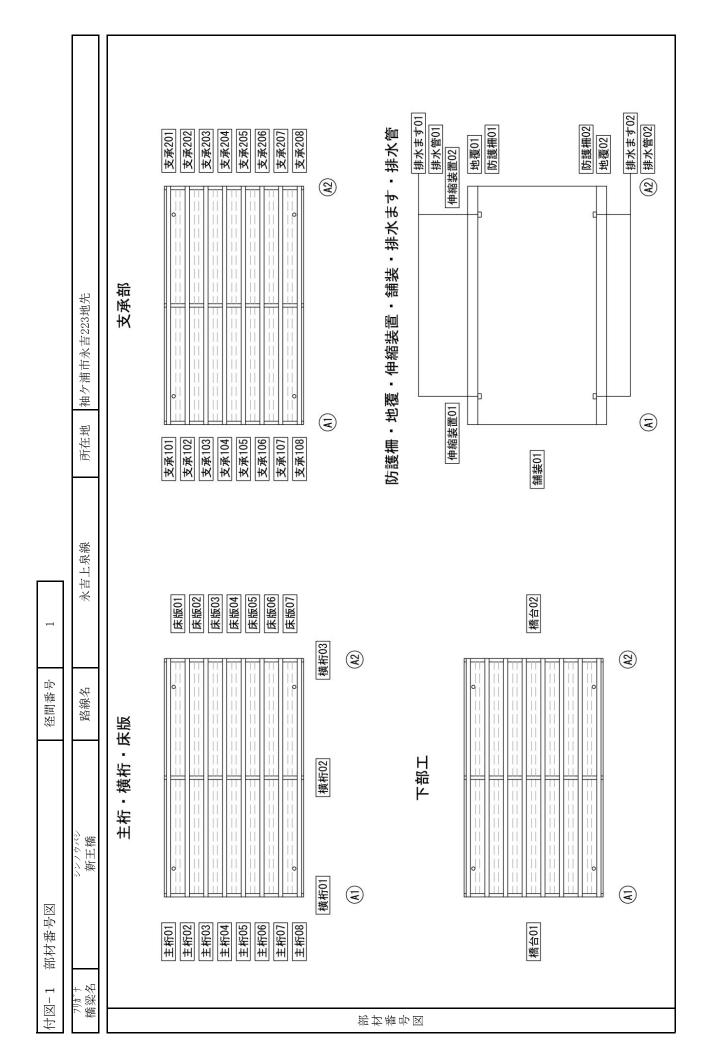
起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部その他

下部構造

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分



#### 17. 川原井腰當 1 号橋

別紙2 様式1様式2 棒渉クニケル 無

橋梁名 所名	橋梁名 所在地 管理者名等							
<b>杨</b> 淡名			路線名	所在地		起点側 経度	35° 24′ 46.19″ 140° 04′ 15.49″	橋梁ID 35.41283,140.07097
原井腰當1号橋  (フリガナ)カワハラ	11号橋 1ワハライコシブ	原井腰當1号橋 (フリガナ)カワハライコシアテイチゴウバシ	川原井6号線	袖ケ浦市川原井496地先				
管理者名			定期点検実施年月日	1 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	[ 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.13	।।(उम	有	一般道	三次	無
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	ゴニ記録				応急措置後に記録	己鍒		
部材名		判定区分 (I~Ⅳ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	井	Ι						
	横桁							
	床版							
下部構造	•	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

写真1舗装

土砂詰まり

<u>定期点検時に記録</u> (判定区分) (所見

(所見等)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員

橋長

架設年次

5.00m

 不明
 13m

 橋梁形式

 現場打ちボックスカルバート

舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



終点側



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 土砂詰まり 雏羰 判定区分

	6地先	防護柵・地覆・舗装	地覆01	(A2)			
	所在地 袖ケ浦市川原井496地先	防護	舗装01	(A1)			
1	川原井6号線			(AZ)			(A2)
径間番号	路線名	<del>作</del>			Н		
部材番号図	カワハライコシアテイチュウバシ 川原井腰當1号橋	主桥	主桁01	(A1)	丁	播台01	(A)
付図-1 部	7JV*† 桶梁名			岩本	2梅中図		

## 18. 吉野田橋

別紙2 様式1様式2

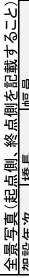
橋梁名 所名	橋梁名·所在地·管理者名等	]等						
極沙女			<b>松</b> 線 夕			お 特度	35° 22′ 23.59″	橋梁ID
# 			ווא ארן ויים אין ויים אין ויים אין אין ויים אין	크로 TLU		<b>严</b> № 度	140° 00′ 46.04″	35.37322,140.01279
吉野田橋 (フリガナ)ヨシノダバシ	シノダバシ		吉野田1号線	袖ケ浦市吉野田545地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.14	棉水川	有	一般道	三次	<b></b>
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	(こ言)録				応急措置後に記録	己录		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ι						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I			ı			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

®食、変形・欠損、±砂詰まり | 写真1 防護柵、写真2 舗装

Ħ

防護柵に腐食、欠損、舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



架設牛次	<b>稲</b> 坛	唱貝
1970年	15m	5.00m
橋梁形式		
PC単純プレテン	/床版橋、パ	イルベント橋台2基



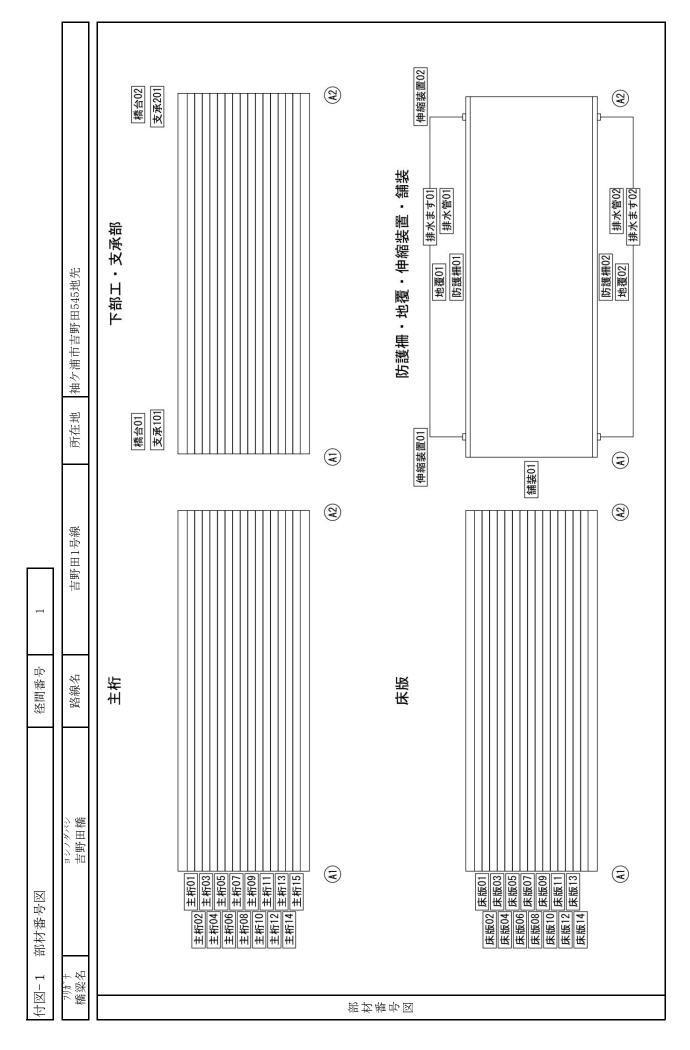




起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

土砂詰まり 舗装 その他(舗装) [判定区分: 判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 変形・欠損 腐食、 防護柵 判定区分 写真1



## 19. 山王橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名·所名	橋梁名·所在地·管理者名等	3等						
椅梁名			路線名	所在地		起点側經療	35° 22′ 16.82″ 140° 00′ 42.62″	橋梁ID 35 37134 140 01184
山王橋 (フリガナ)も	山王橋 (フリガナ) サンノウバシ		吉野田2号線	袖ケ浦市吉野田432地先		X 11 = 1	3	
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.14	槍水川	卓	一般道	三次	上水道
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	など(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	记録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ι			,			
	横桁							
	床版	I						
下部構造		Ι			,			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



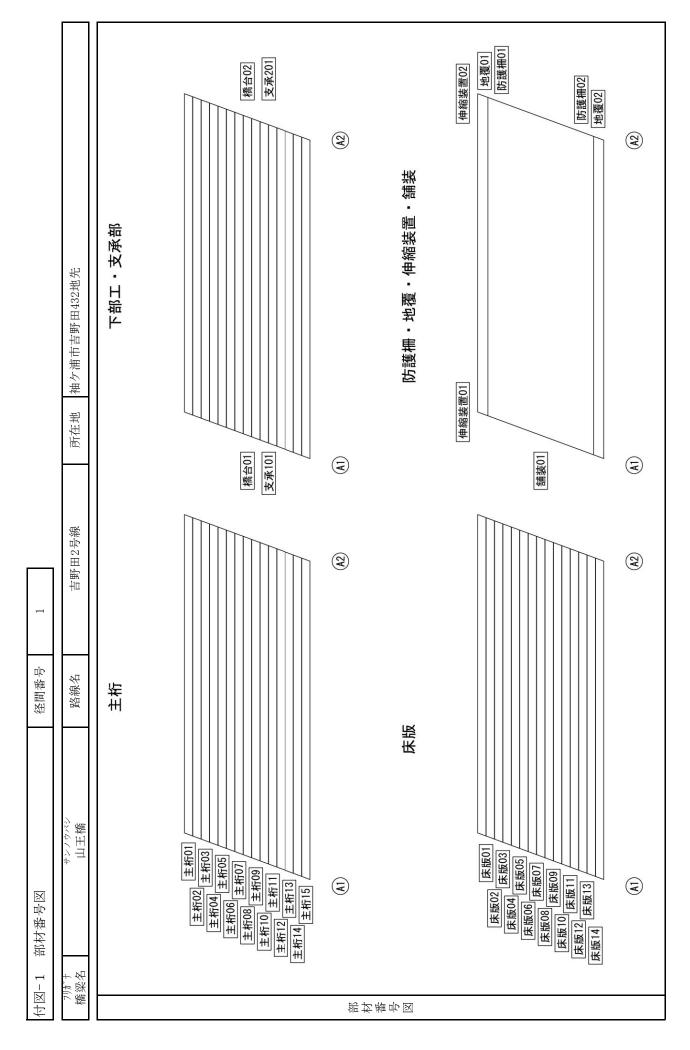




終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:



# 20. 久保田白根橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名•所	橋梁名·所在地·管理者名等	1等						
<b>唇沙</b> 夕			收約夕			お 号側 権度	35° 27′ 07.13″	橋梁ID
<b>¥</b>			#	コナエル		严無  ○	140° 00′ 25.24″	35.45198,140.00701
久保田白根橋 (フリガナ)クボ	久保田白根橋 (フリガナ)クボタシラネバシ	シ	久保田二丁目2号線	線 柚ケ浦市久保田2344地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.14	久保田川	-	一般道	三次	上水道
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u> </u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	メント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録			
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	土桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1 防護柵

ゆるみ・脱落

防護柵にボルトの脱落が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	ш9	2.78m
橋梁形式		
RC単純床版棉	氰(場所打ち)、	, 重力式橋台2基





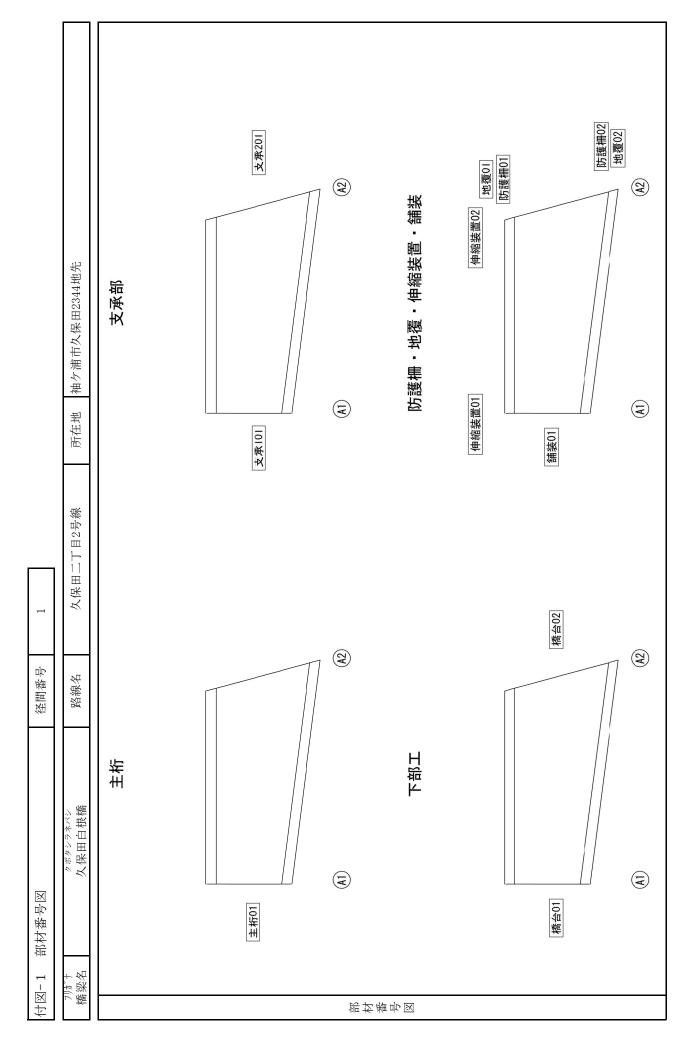
国出

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(防護柵)【判定区分: II】 ゆるみ・脱落 防護柵 判定区分



## 21. 無名橋(134)

別紙2 様式1様式2 棒渉タニケ地 毎期

橋梁名 所在地 管理者名等	地 管理者名	,等						
<b>标沙</b> 夕			收绝夕			お 日 棚 権度	35° 23′ 10.32″	橋梁ID
₽ ₩			# 다 네까지 그	コイエルル			140° 02′ 38.15″	35.38620,140.04393
無名橋(134) (フリガナ)ム2	*イキョウ(ヒャ	無名 橋(134) (フリガナ) ムメイキョウ(ヒャクサンジュウヨン)	三箇15号線	袖ケ浦市三箇1044-2地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.13	境川			三次	<b>半</b>
部材単位の記	<b>彡断</b> (各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u>Γυ≺</u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	などに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ言の録				応急措置後に記録	金		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 (こ記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

8.00m 帽員 RC単純床版橋、逆T式橋台2基 **4**m 橋長 不明 橋梁形式 架設年次

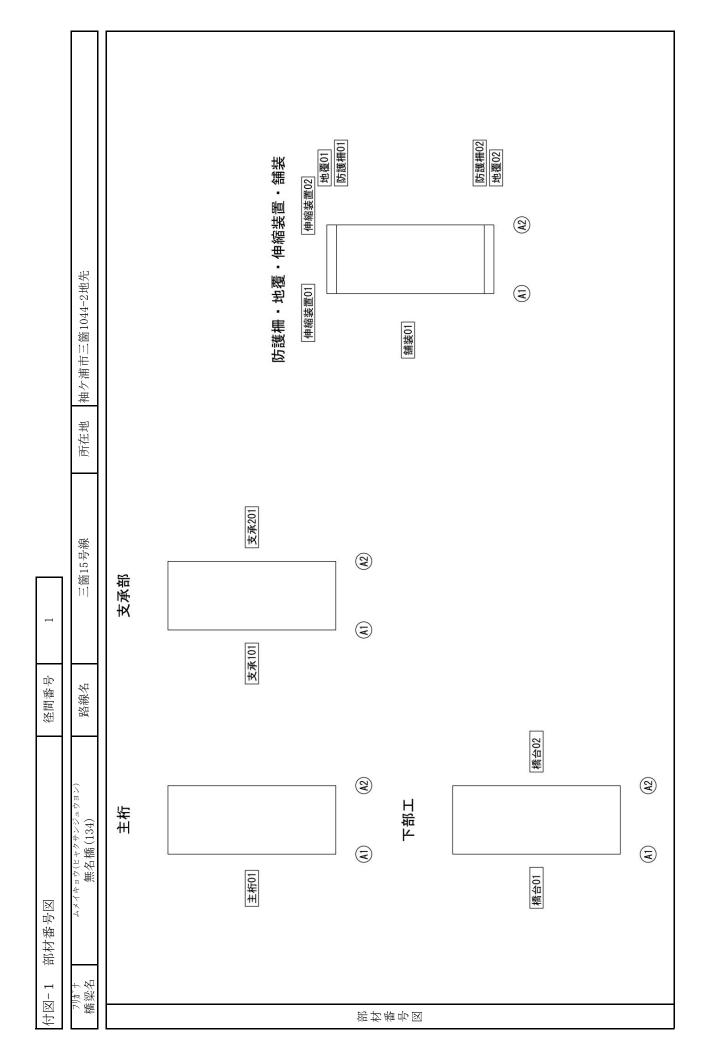




終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:



## 22. 岩井 2 号橋

別紙2 様式1様式2

35.40561,140.01801 占用物件(名称) 橋梁ID 不明 04.84" 緊急輸送道路 20.20" 140°01′ 24, 三次  $35^{\circ}$ 自専道or一般道 緯 経度 起点側 一般道 代替路の有無 争 袖ケ浦市岩井343-1地先 路下条件 三旦烘 所在地 Ш 定期点検実施年月 2023.11.10 岩井5号線 路線名 橋梁名·所在地·管理者名等 (フリガナ) イワイニゴ ウバシ 岩井2号橋 管理者名 袖ケ浦市 橋梁名

開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一朗 応急措置及び 判定実施年月日 **応急措置内容** 定期点検者 応急措置後の 判定区分 に記録 **応急措置後**/ 備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載、 写真1 舗装 変状の種類 (エ以上の場合 に記載) 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入) 土砂詰まり 道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 判定区分(I~IV)  $\blacksquare$ 横桁 床版 **計** 定期点検時に記録 定期点検時| 上部構造 下部構造 部材名 支承部 その色

(所見等) 判定区分) 舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 唱画 橋馬 架設年次

5.00<sub>m</sub>PC単純プフトン保版橋、不明 11<sub>m</sub> 1998年 喬梁形式



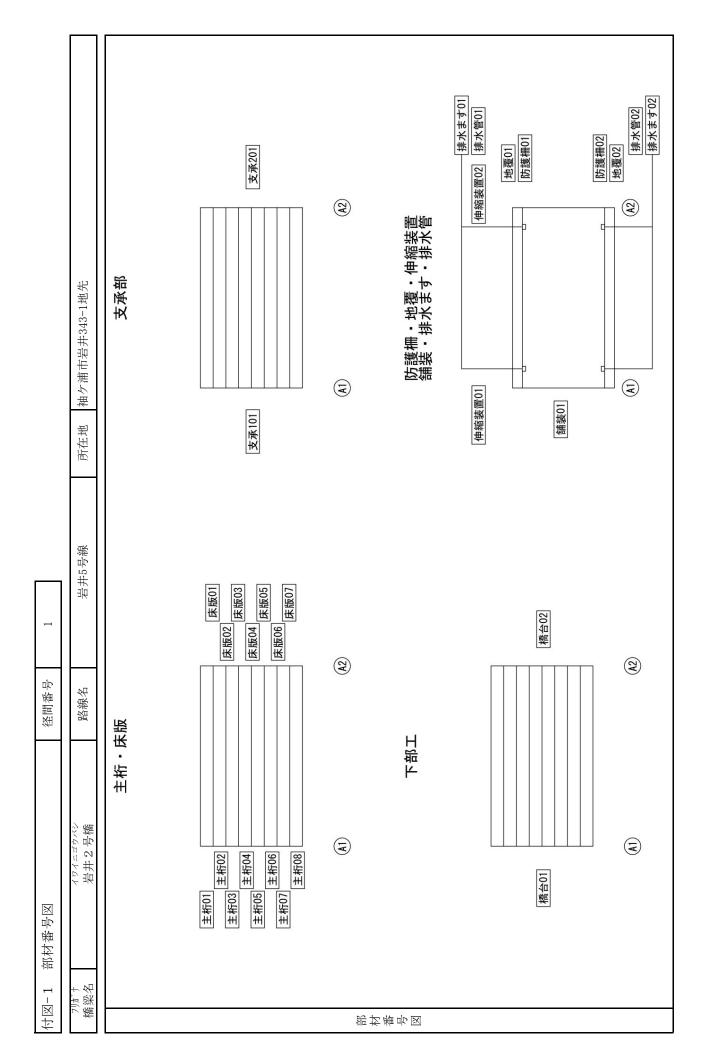
国出

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 土砂詰まり 雏羰 判定区分 写真1



## 23. 林大橋

別紙2 様式1様式2 棒渉タニケ地 毎期

橋梁名·所在	橋梁名 所在地 管理者名等							
橋梁名			路線名	所在地		起点側 緯度	35° 23′ 55″	橋梁ID 35 30861 140 07861
林大橋 (7.1.1.4.) (7.1.1.4.) (7.1.1.4.1.) (7.1.1.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	林大橋(フェボナ)、なジャナ、ジ		川原井林線	袖ケ浦市林152地先		<b>조</b> / 보	24	100.00
管理者名			定期点検実施年月日	日路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.11.14	松川	<b>在</b>	一般道	三次	胀
部材単位の意	診断(各部材毎		の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	なント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	<b>計</b>	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

(所見等) (判定区分)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

PC単純プレテン床板橋、逆T式橋台2基 10.63m 幅員 17m 橋長 2011年 橋梁形式 架設年次





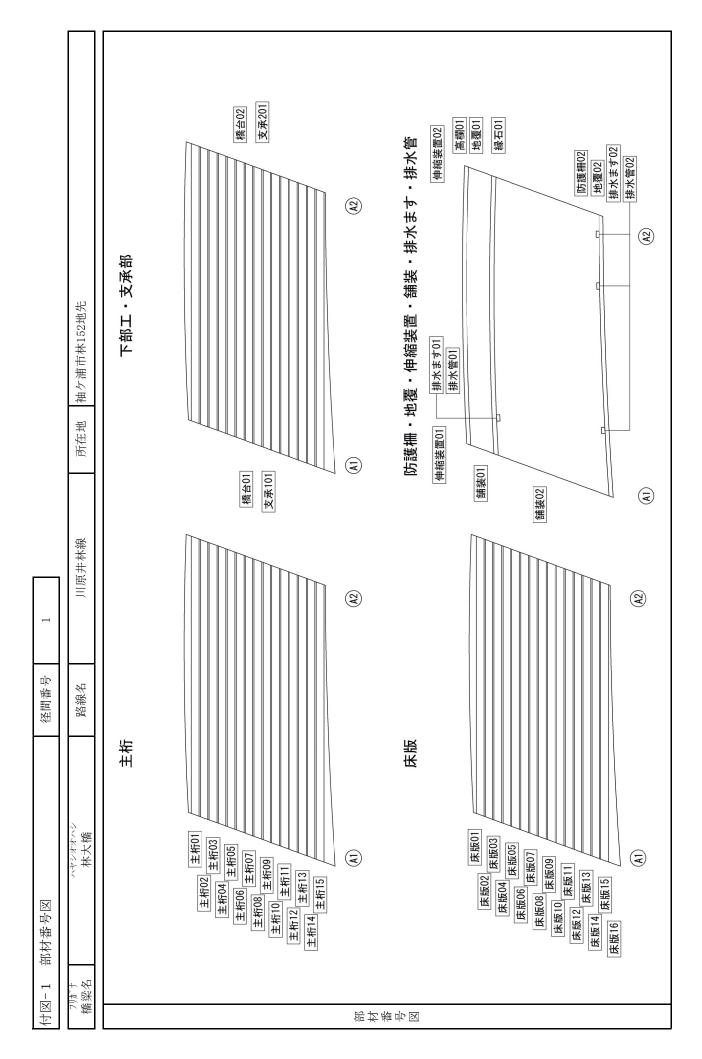
国出

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:



### 24. ボックスカルバート⑦

別紙2 様式1様式2 棒弧 新工

橋梁名·所在地·管理者名等	<b>小</b>							
<b>括</b>		中女公白夕	<b>叶</b>		部 上 畑		35° 24′ 45.72″	橋梁ID
₽ ₩ ₽		五流石	끼걔			経度	140° 00′ 35.93″	35.41270,140.00998
ボックスカルバート⑦  (フリガナ)ボックスカルバートナナ		飯富29号線	袖ケ浦市大曽根391地先					
管理者名		定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自專道or一般道		緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市		2023.11.10	水路	有	—般道		三次	<b>半</b>
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	に最も厳しい健全性	:の診断結果を記入)			定期点検者		開発虎ノ門コンサル	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録				応急措置後に記	こ記録			
4 114	判定区分	変状の種類	備考(写真番号、	応急措置後の	640	<del>-[</del>	# # ##	応急措置及び

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部村名	判定区分 (I~IV)	変状の種類  (II以上の場合   に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	I					
横桁						
床版						
下部構造	I					
支承部						
その他	I	路面の凹凸、その他 写真1	写真1 防護柵、写真2-3 舗装			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

(所見等) 定期点検時に記録 (判定区分)

防護柵に植生、舗装に路面の凹凸が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

6.46m RC単純床版橋(場所打ち)、不明 幅員 **4**m 橋長 不明 橋梁形式 架設年次

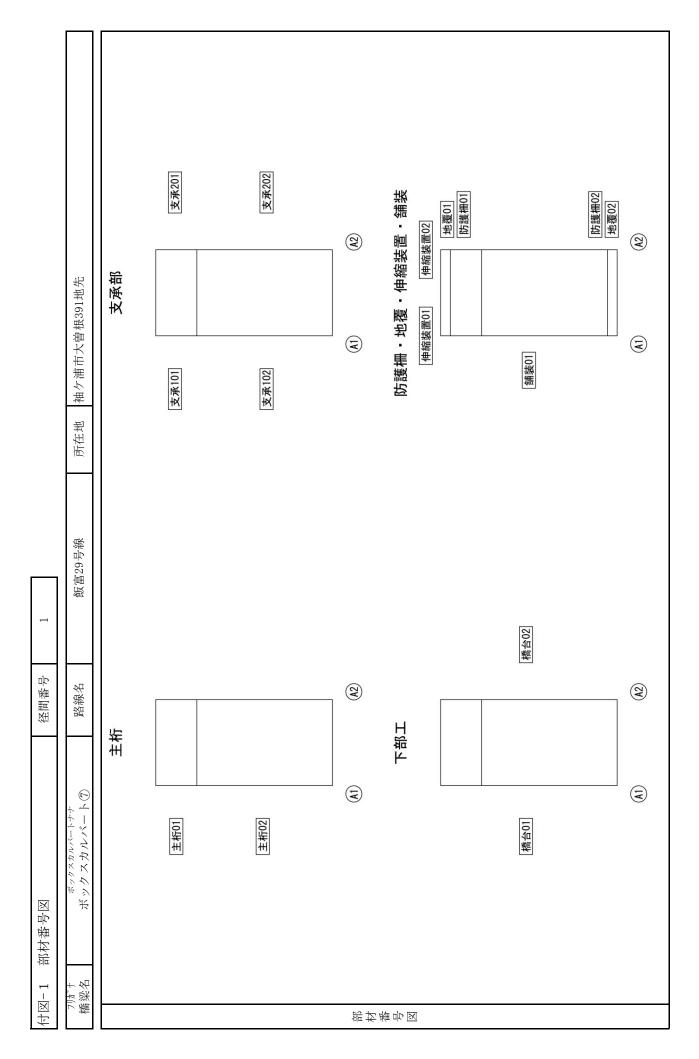


起点側より

国出

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

路面の凹凸 (段差30mm) 舗装 その他(舗装) [判定区分: 判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真2の近接 その他(植生) 防護柵 判定区分 その他(舗装) 写真3 写真1



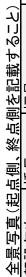
### 25. 袖ケ浦駅自由通路

別紙2 様式1様式2

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	]等							
吞沙夕			400 400 400	- 比欠抽		神一間 (緯		35° 25′ 56.14″	橋梁ID
₩ ₩			五条 百	레카 H IV			経度 1	139° 57′ 28.62″	35.43226,139.95795
袖ケ浦駅自由通路 (フリガナ)ンデガウ	袖ケ浦駅自由通路 (フリガナ)ソデガウラエキジュウツウロ	ジュウツウロ	神ケ浦駅南北自由通路   柚ケ浦		.先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自專道or-	-般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.12.4	JR内房線	<b></b>	—般道		三次	<b></b>
部材単位の言	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者		開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑	などに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	己录			
部材名		(Ⅱ~Ⅰ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	<b>炎の</b> う	応急	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	П	その他	写真1 主桁01					
	横桁	I							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

主桁、縦桁に鳥のふん害、橋脚に落書きが見られる。維持工事で対応することが望ましい。 Ħ



**鋼製ペデストリアンデッキ+鋼製階段、不明** 8.20m 幅員 89m 橋長 2014年 橋梁形式 架設年次





終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

下部構造

写真2 橋脚08

その他

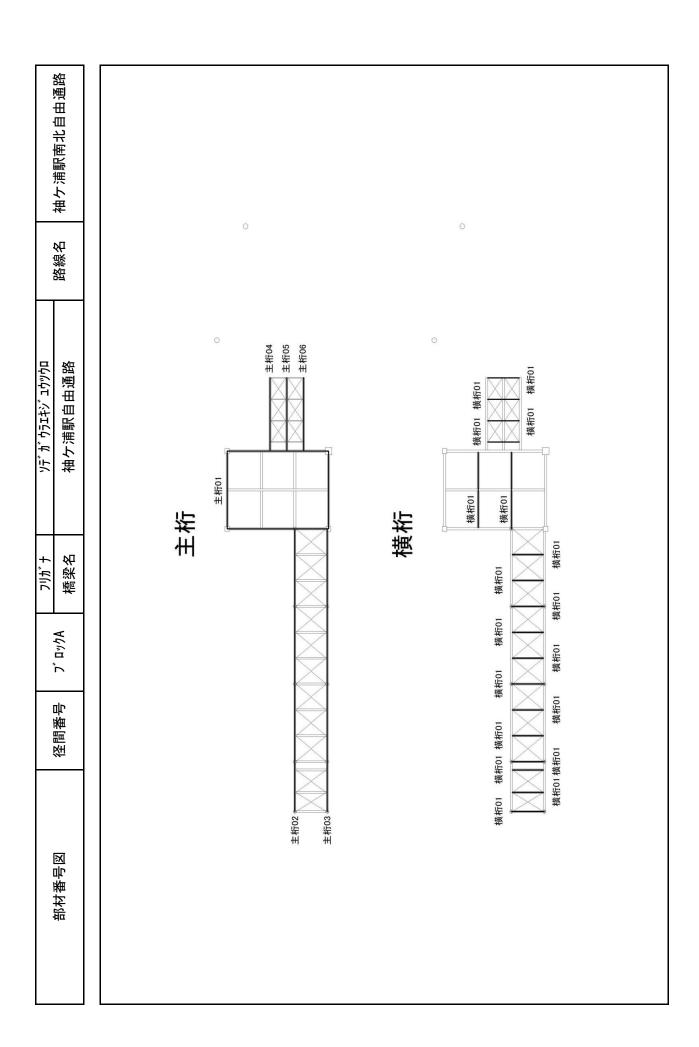
东版

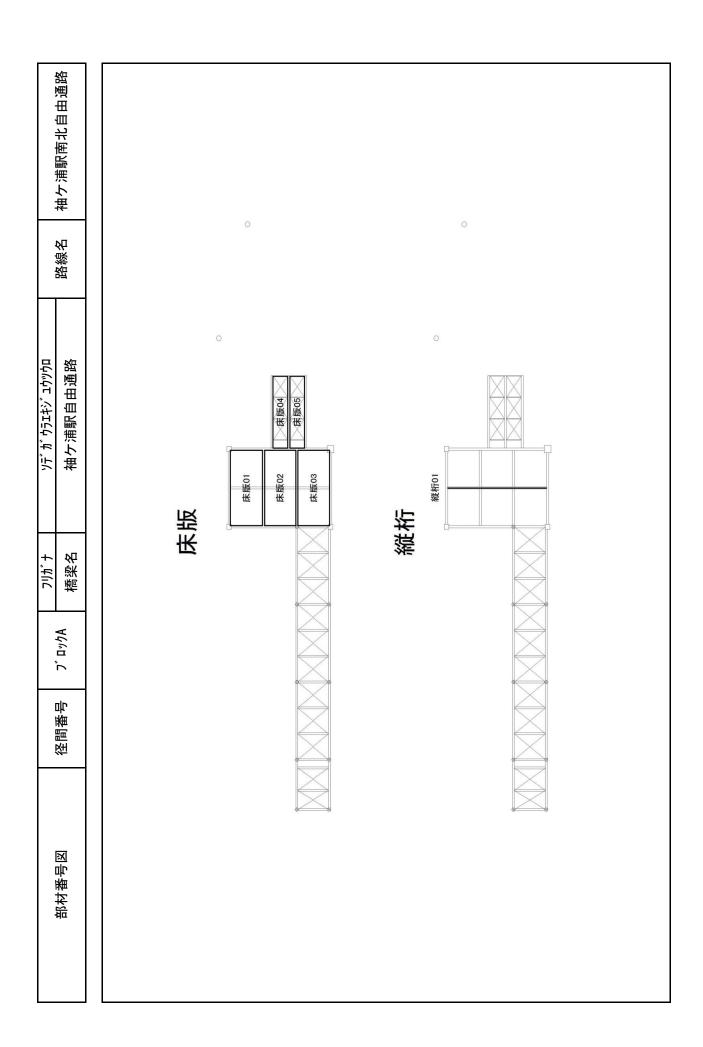
写真3 縦桁01

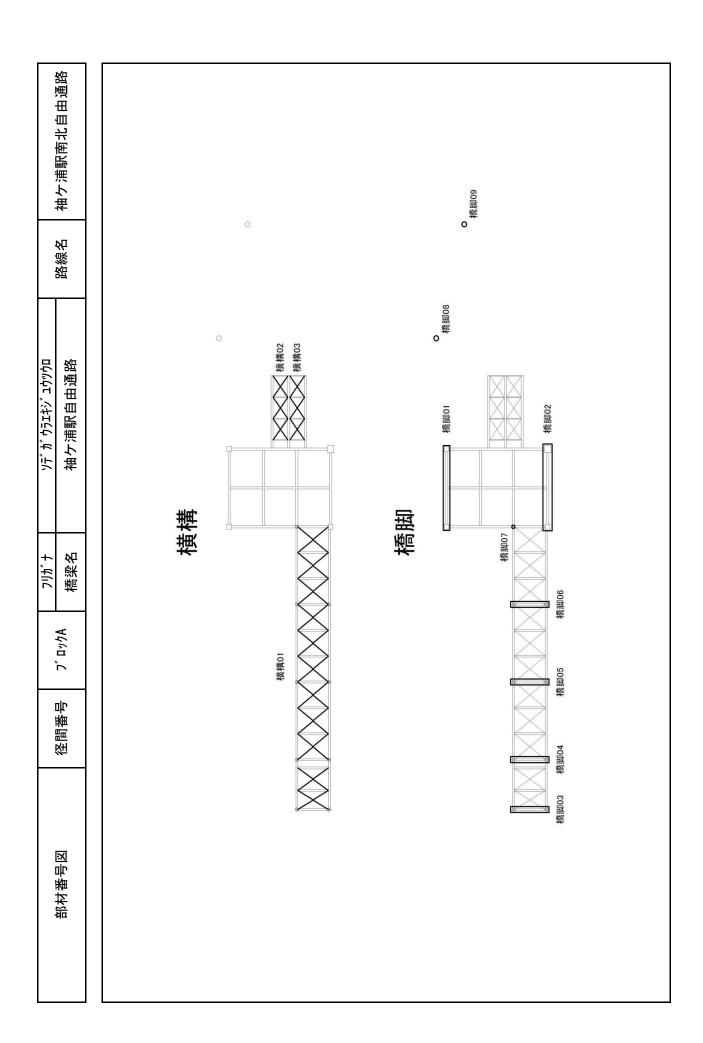
その街

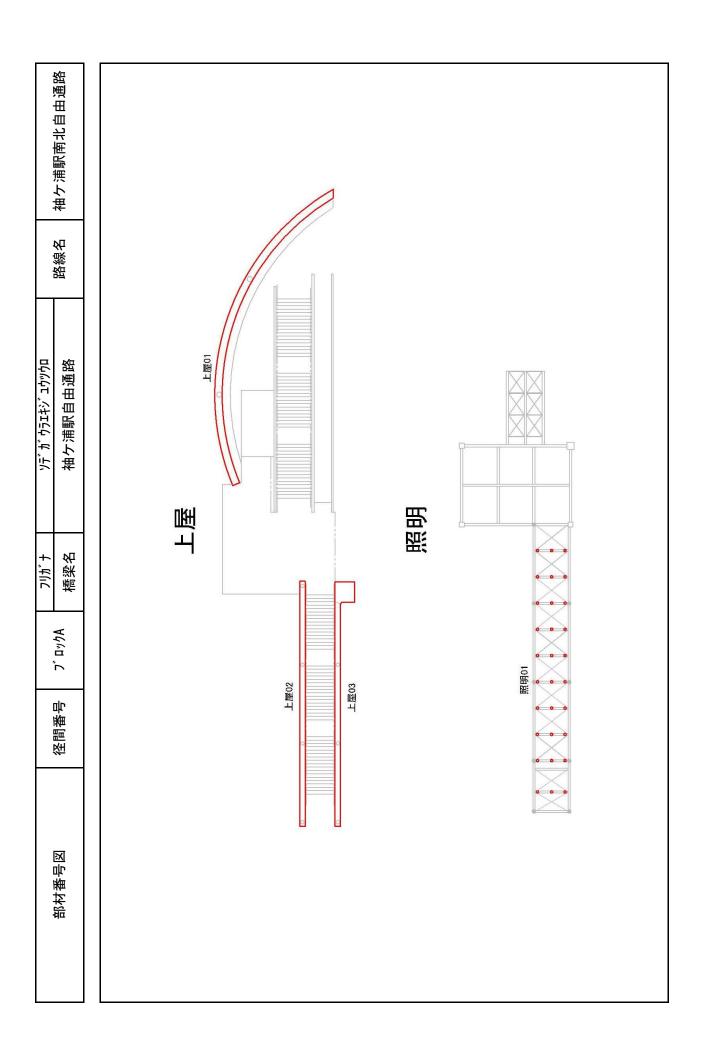
=

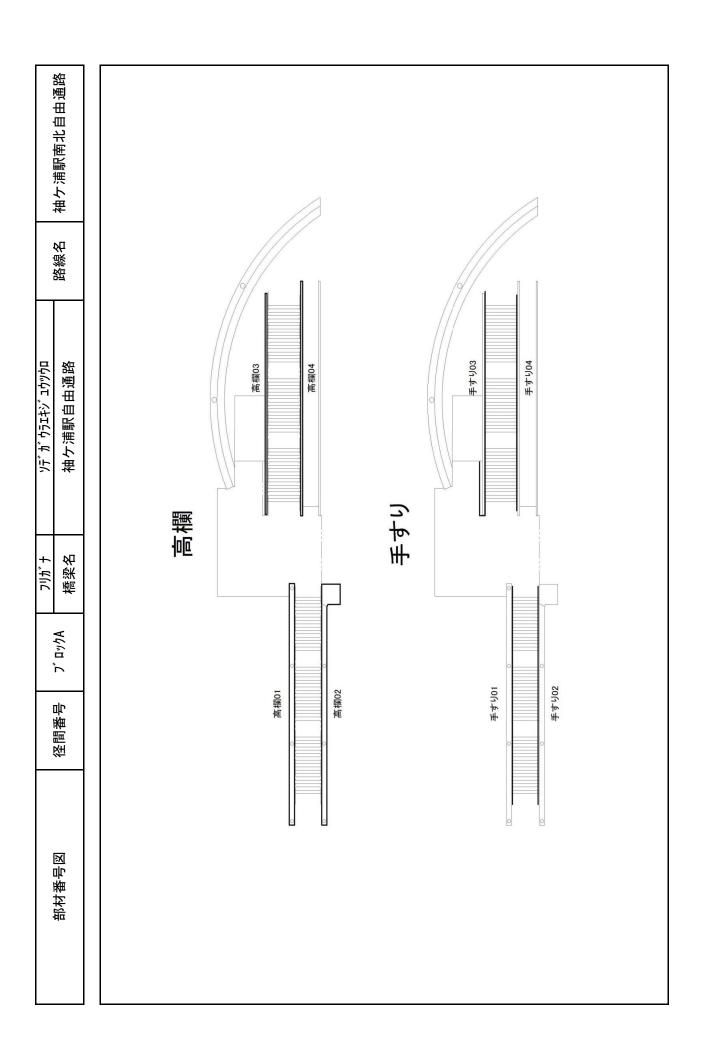
鳥のふん害(ブロックB) 【判定区分: 橋脚08 判定区分 下部構造(橋脚) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 上部構造(主杯)【判定区分: II】 写真2 ※JR点検調書 より抜粋 より抜粋 ※JR点検調書 その他(鳥のふん害)(1径間) (1径間) 主 桁01 その他(鳥のふん害) その他(縦桁)【判定区分: **粪杯01** 写真3 写真1

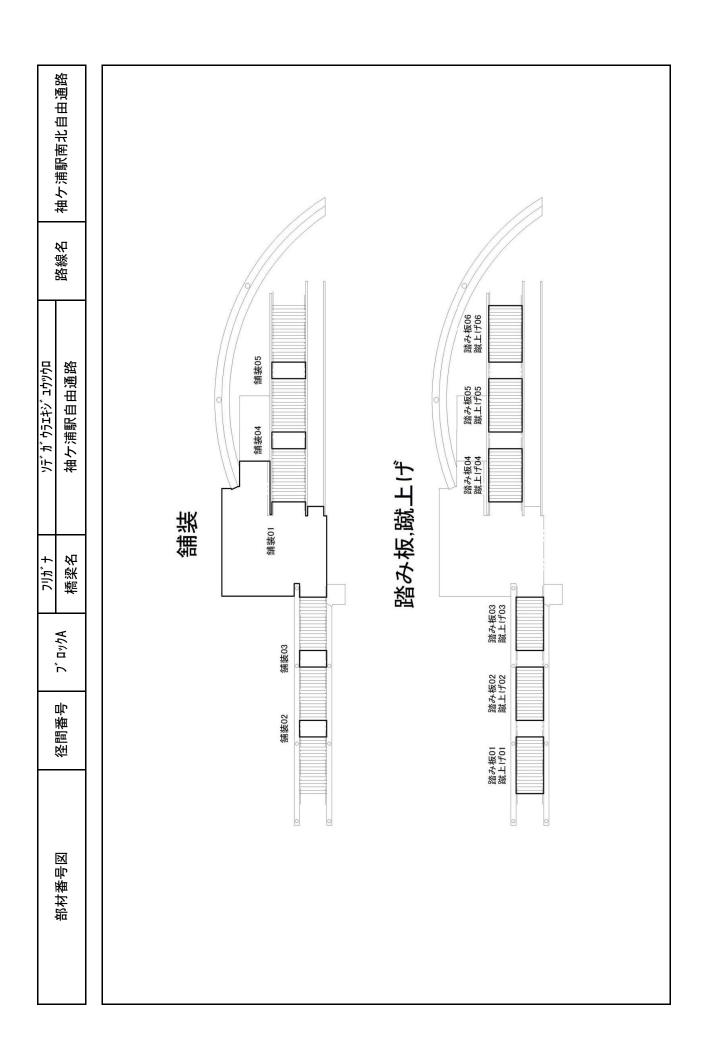


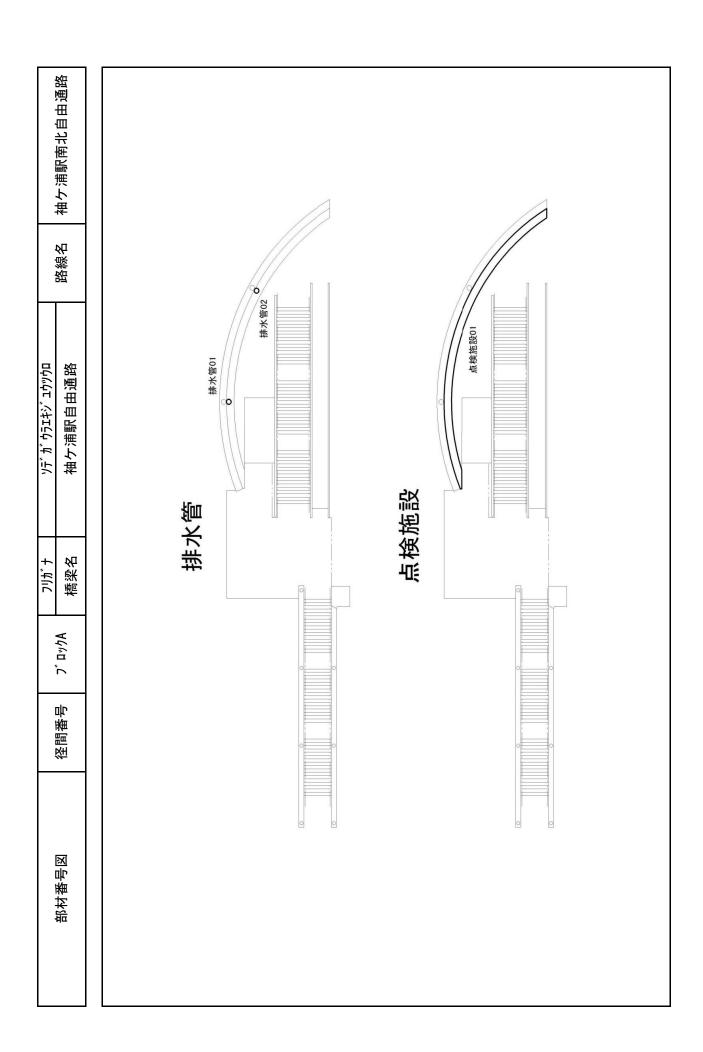


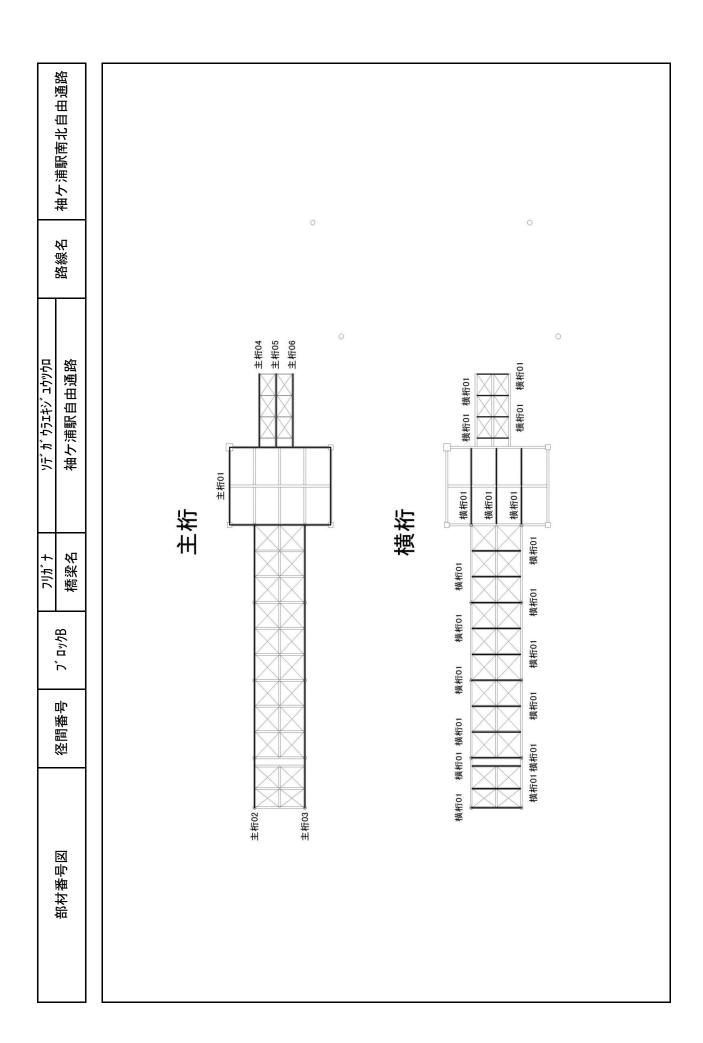


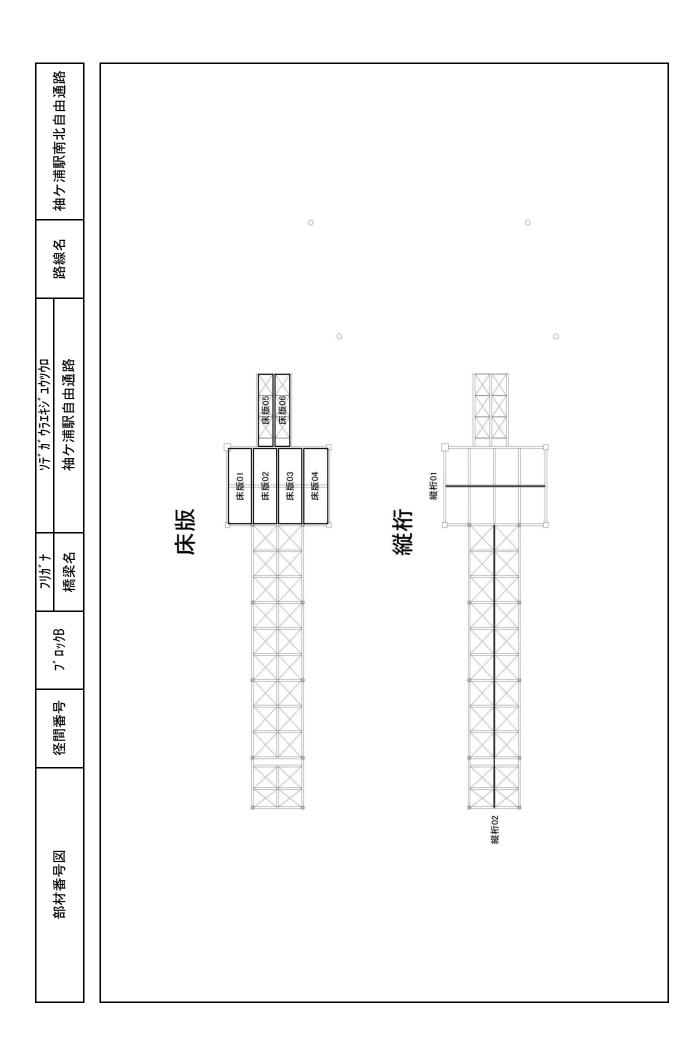


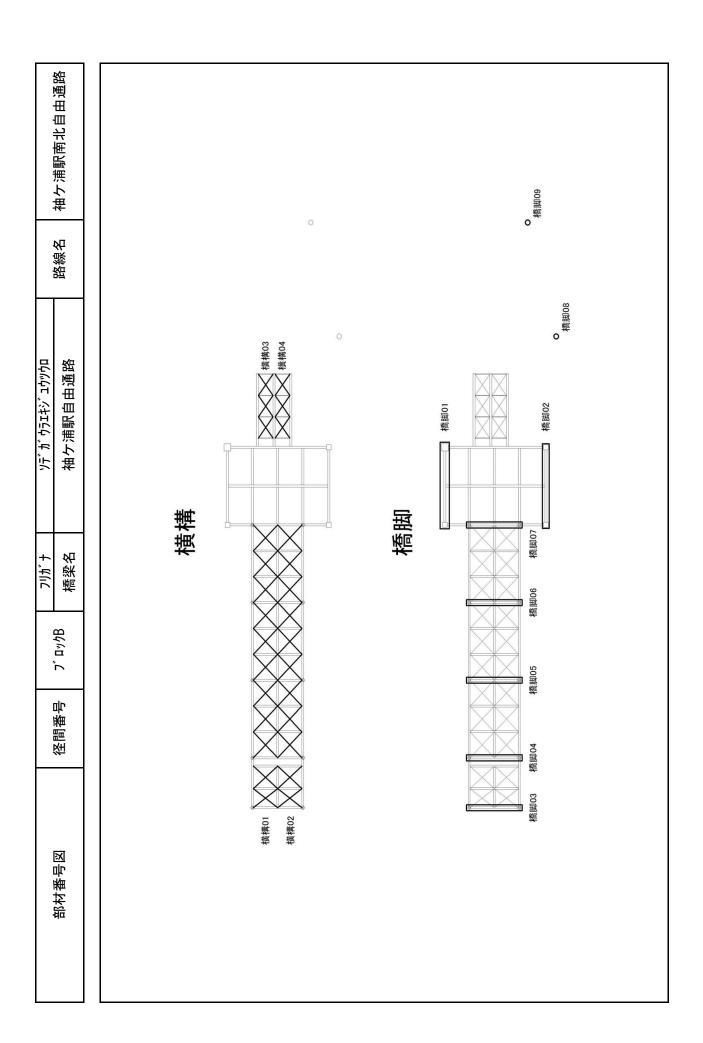


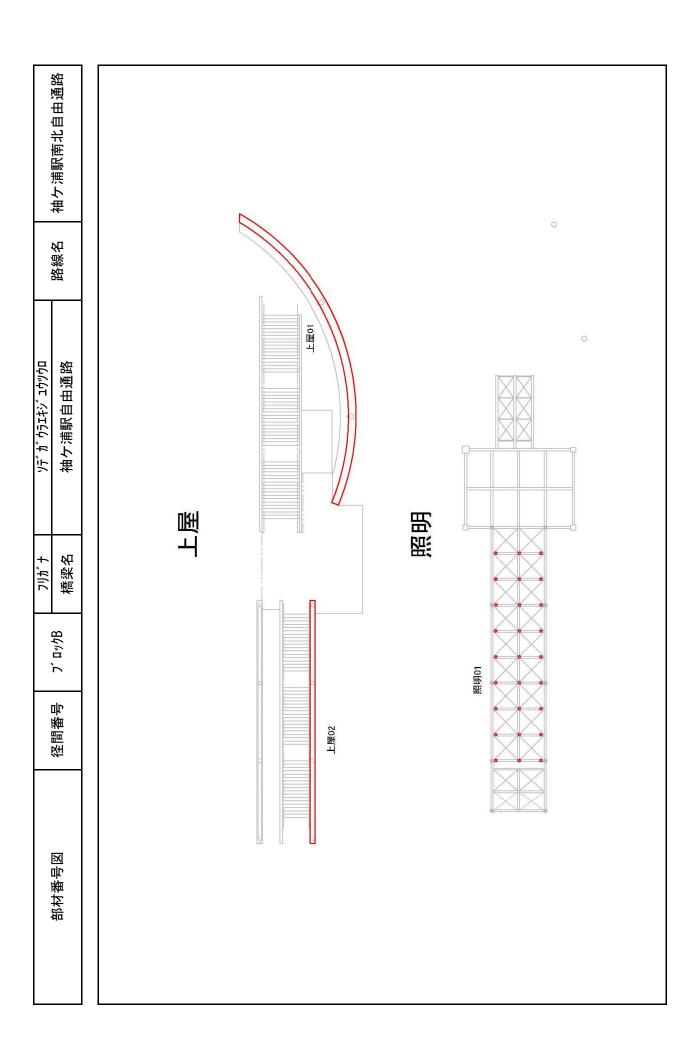


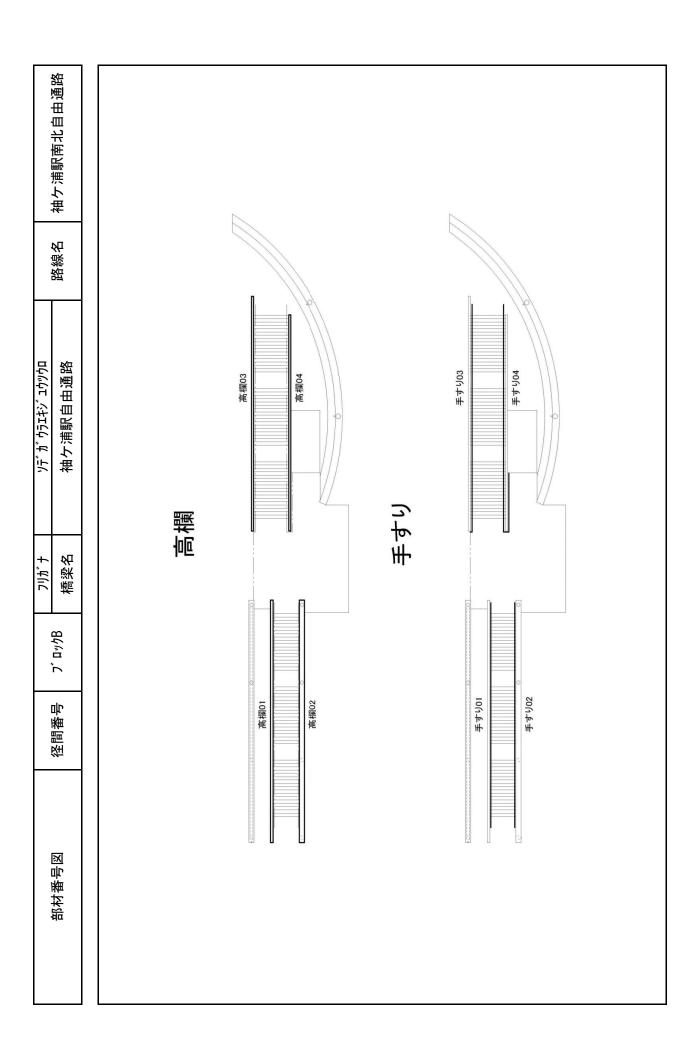


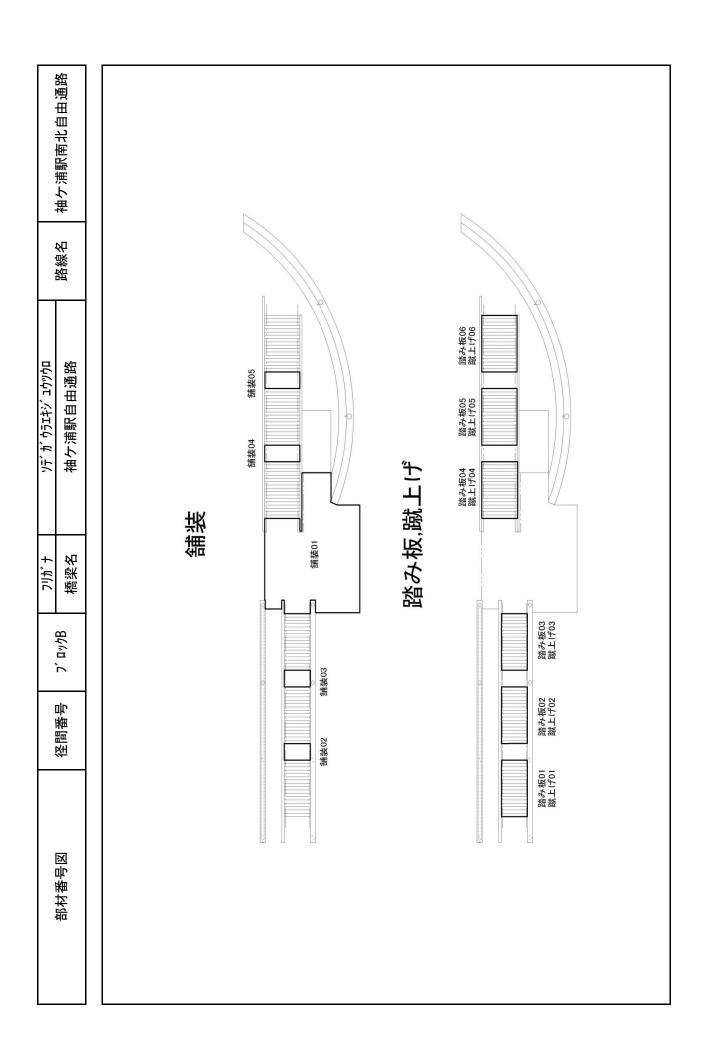


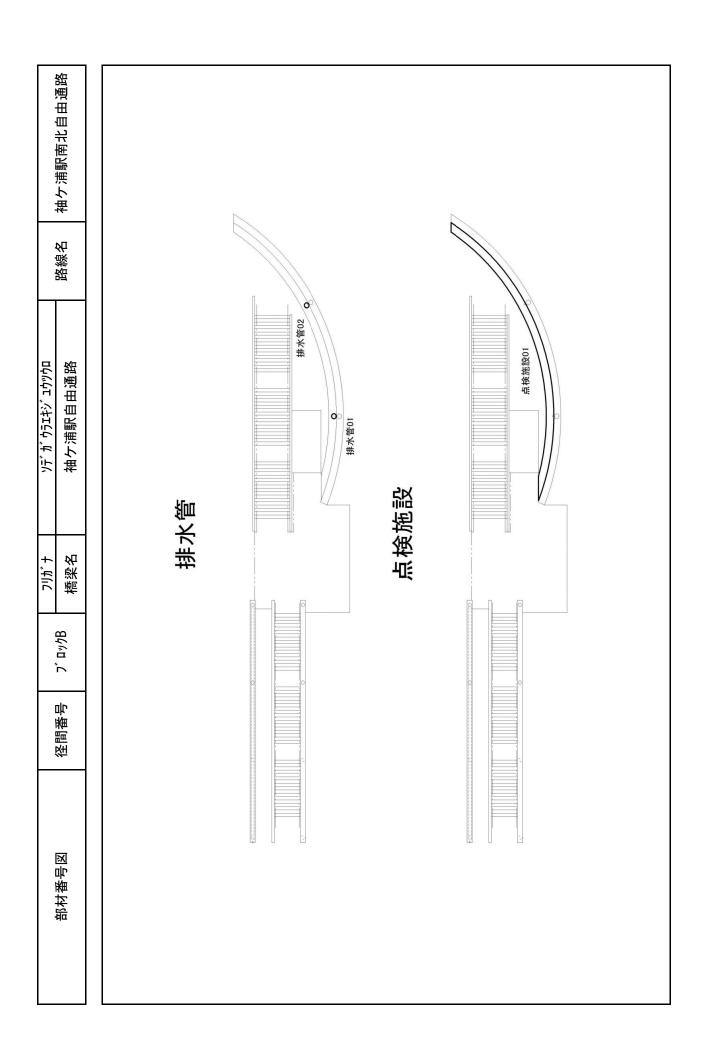


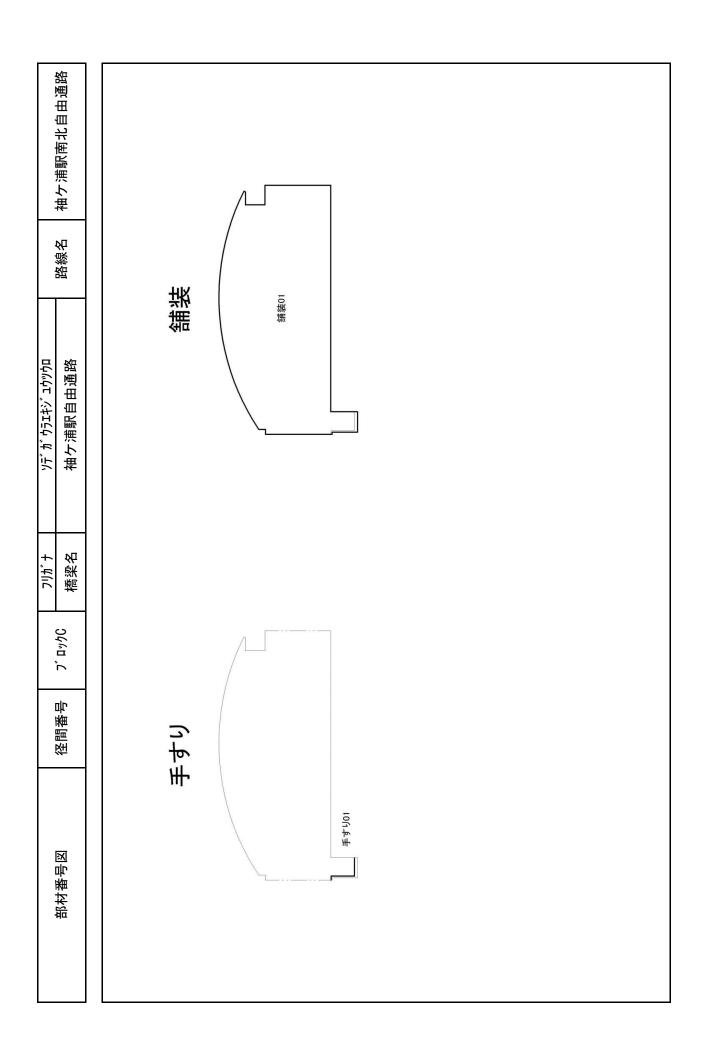












## 26. 長浦駅自由通路

別紙2 様式1様式2 棒弧 新工

橋梁名,所在地,管理者名等						
<b>                                      </b>	1女给 夕	<b>昨</b> 左		おら側 緯度	35° 27′ 01.62″	橋梁ID
<b>1</b>	그 장마리	카마			139° 59′ 44.02″	139° 59′ 44.02″ 35.45045,139.99556
長浦駅自由通路 (フリガナ)ナガウラエキジュウッウロ	長浦駅南北自由通路	長浦駅南北自由通路 袖ケ浦市長浦駅前1丁目34地先	也先			
管理者名	定期点検実施年月日  路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道		緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.12.7	JR内房線	巣	一般道	三次	#
	生の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサル	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録			応急措置後に言	こ記録		

定期点検時に記録	(こ記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	п	その他	写真1 主桁01			
	横桁	п	その他	写真2 横桁02			
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		Π	ゆるみ・脱落、その他 写真3~6	写真3~6 高欄、手すり、舗装、点検施設			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

(所見等) 定期点検時に記録 判定区分)

主桁、舗装、点検施設に鳥のふん害、横桁に鳥の巣、高欄の化粧パネルおよび手すりにネジの脱落が見られる。維持工事で対応することが望ましい。  $\blacksquare$ 

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 架設年次 | 橋長 | 幅員

**鋼製ペデストリアンデッキ+鋼製階段、不明** 7.50m 56m 2014年 橋梁形式





国田

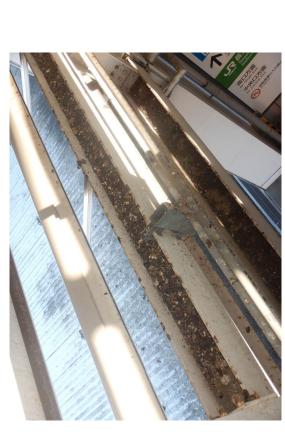
終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 下部構造(主桁) [判定区分: II]

写真1



(ブロックD) その他(鳥のふん害) 【判定区分 **叶**桥01 その他(高欄)



その他(手すり) 【判定区分

写真4



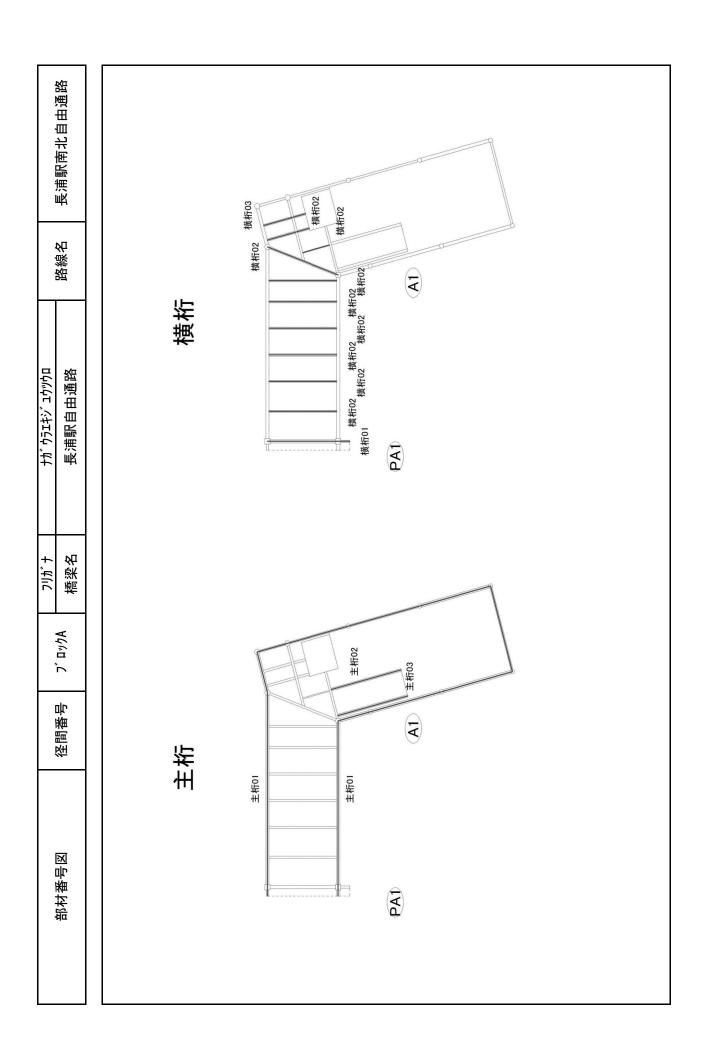
(ブロックE) ゆるみ・脱落



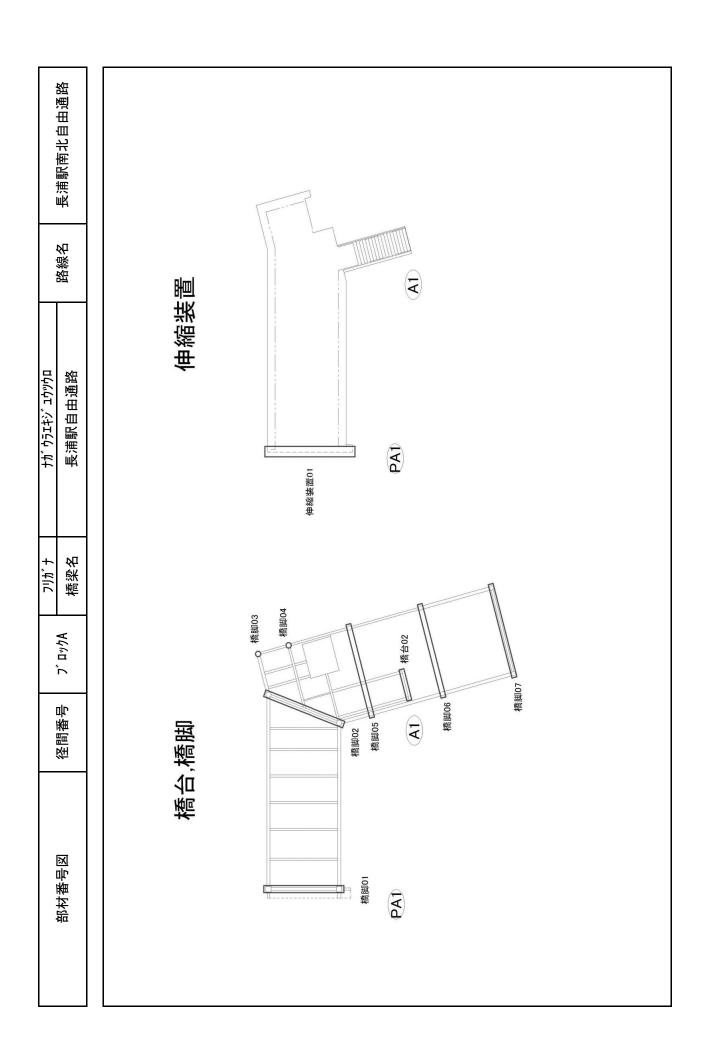
(ブロックE) ゆるみ・脱落 手すり

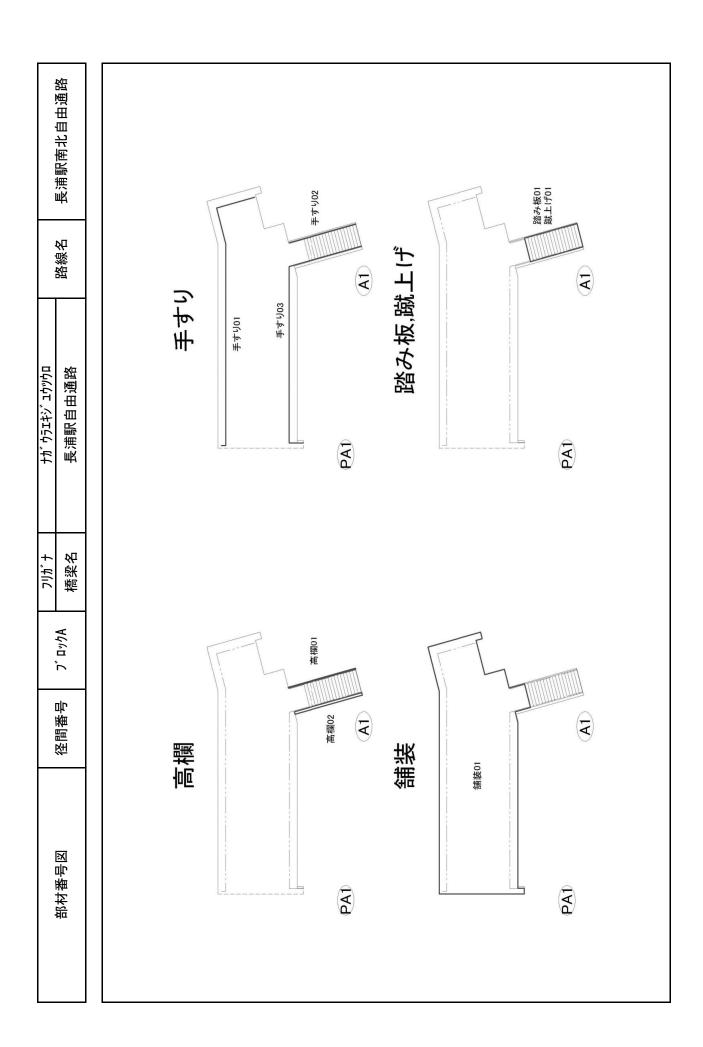
写真3

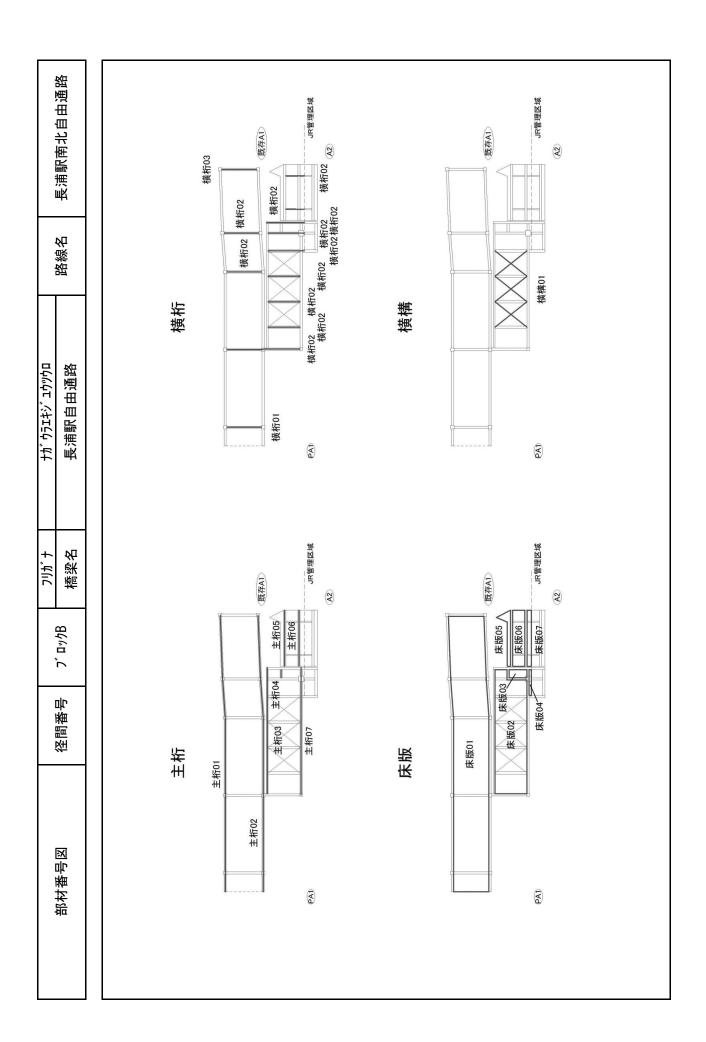
(ブロックD) その他(鳥のふん害) 【判定区分: 【判定区分 点検施設 その他(点検施設) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装) [判定区分: II] 写真6 (ブロックD) その他(鳥のふん害) 判定区分 雏羝 写真5

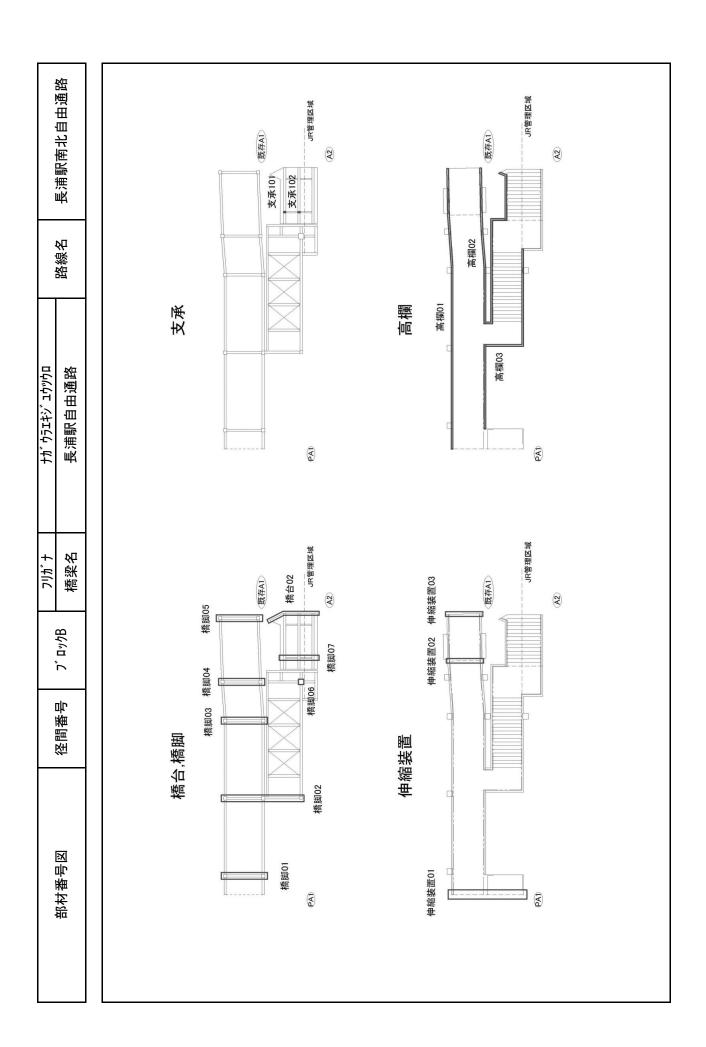


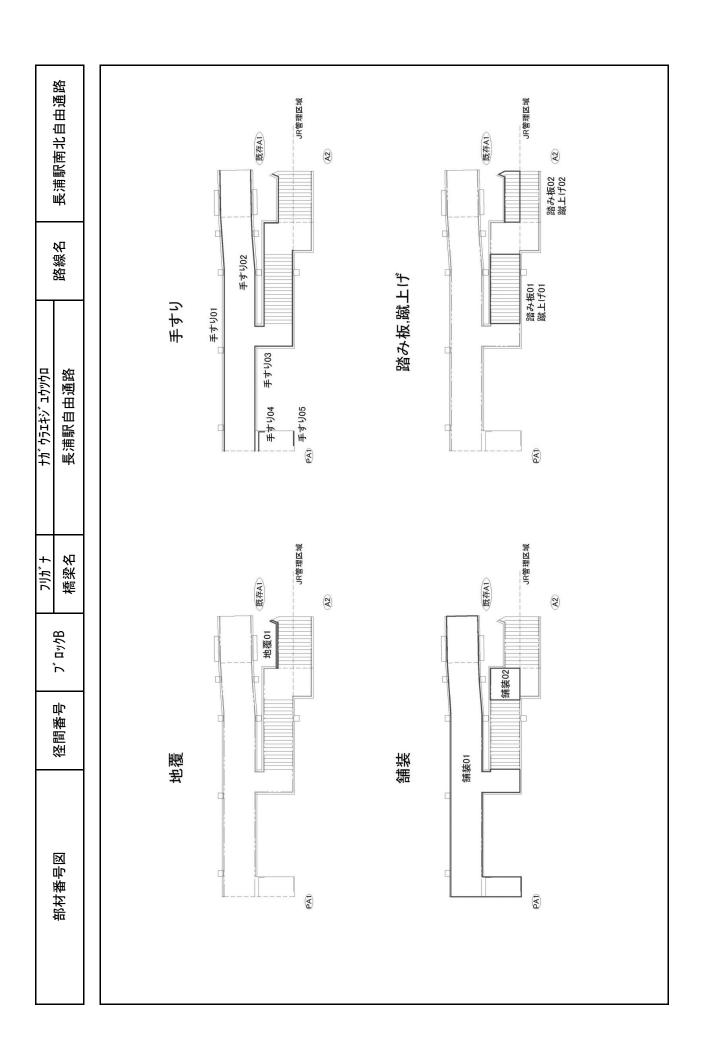
長浦駅南北自由通路	来 版O3
路線名	来版202
ナが、ウラエキジ、ユウツウロ 長浦駅自由通路	序A) (A1)
桐楽名	<b>数</b> 打0.
7° ¤7A	
径間番号	<b>從</b> 拓
部材番号図	A Note that the state of the s

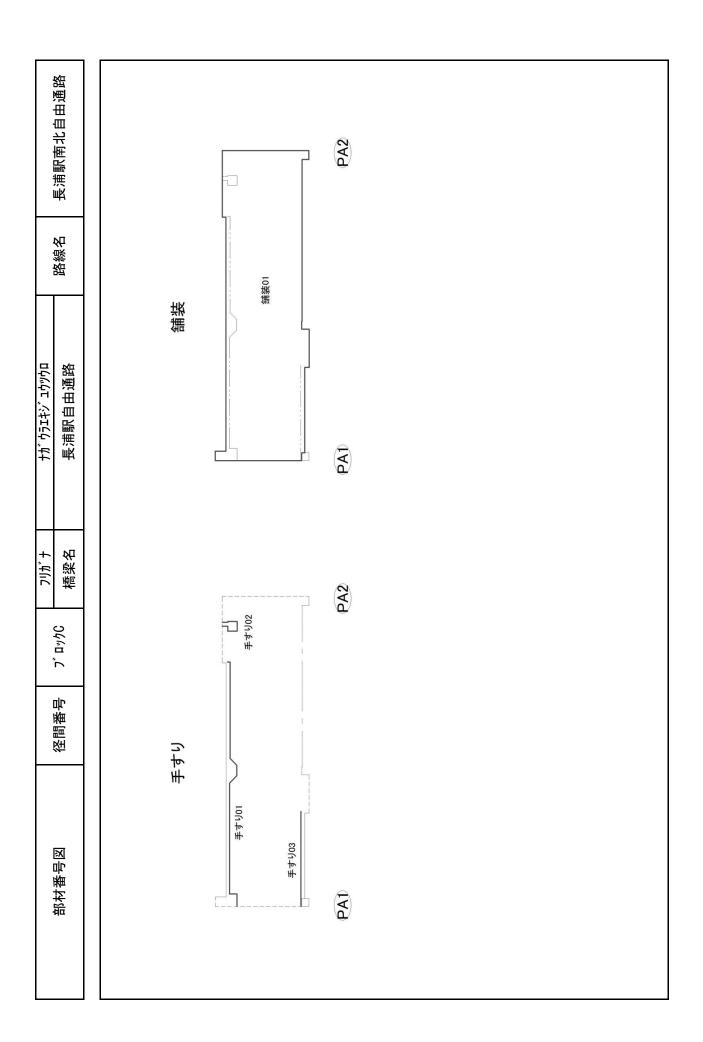




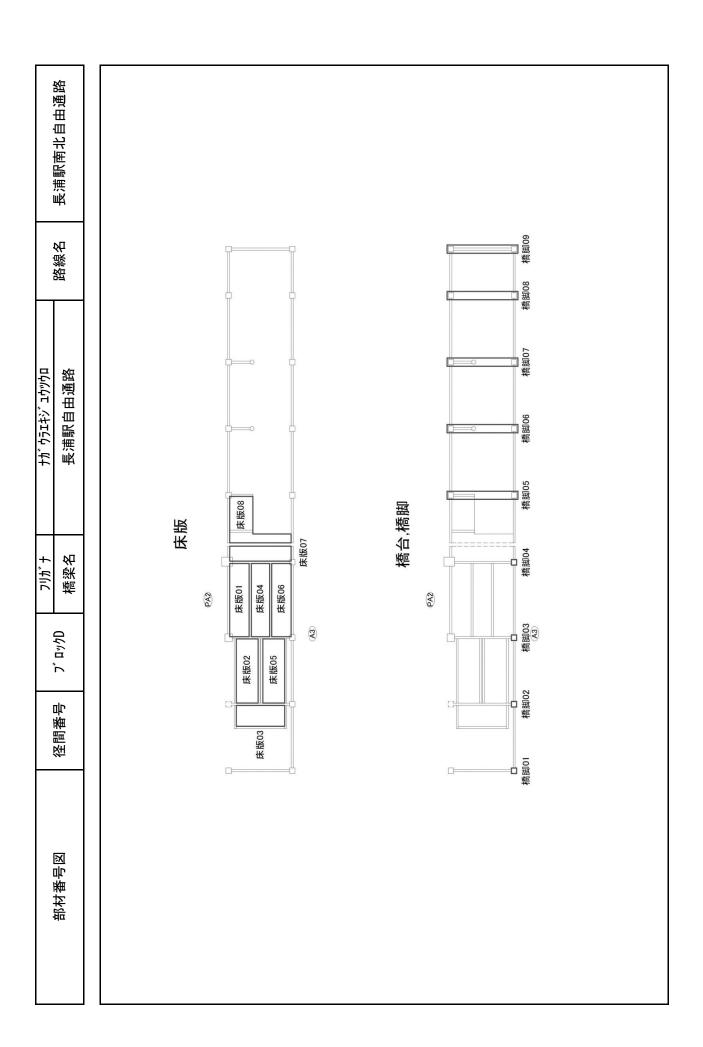


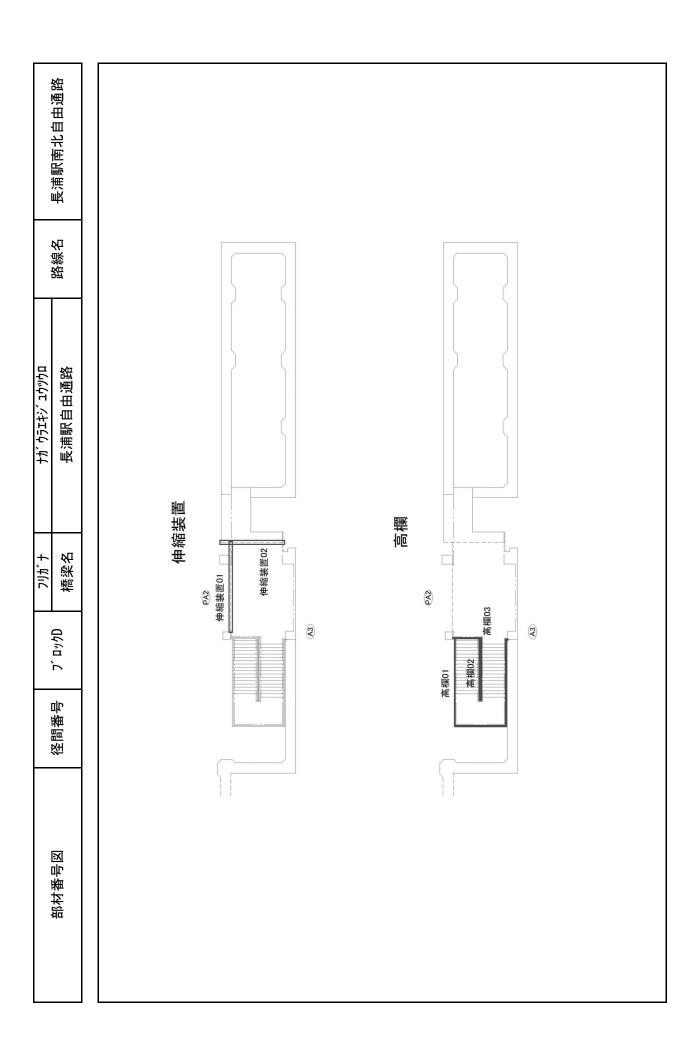


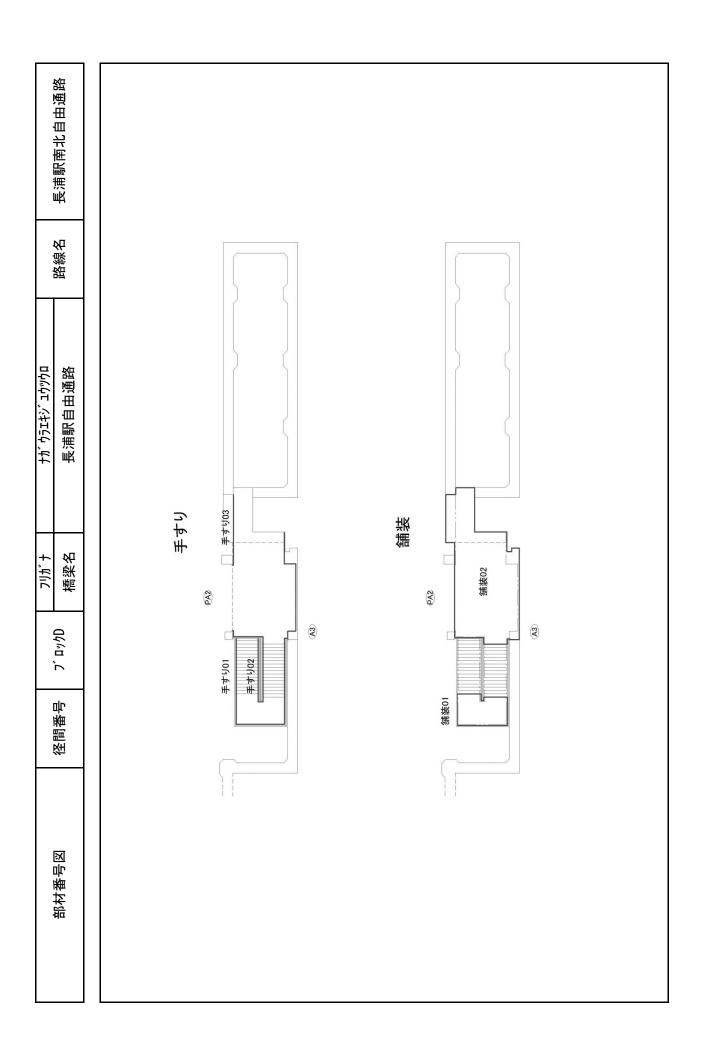


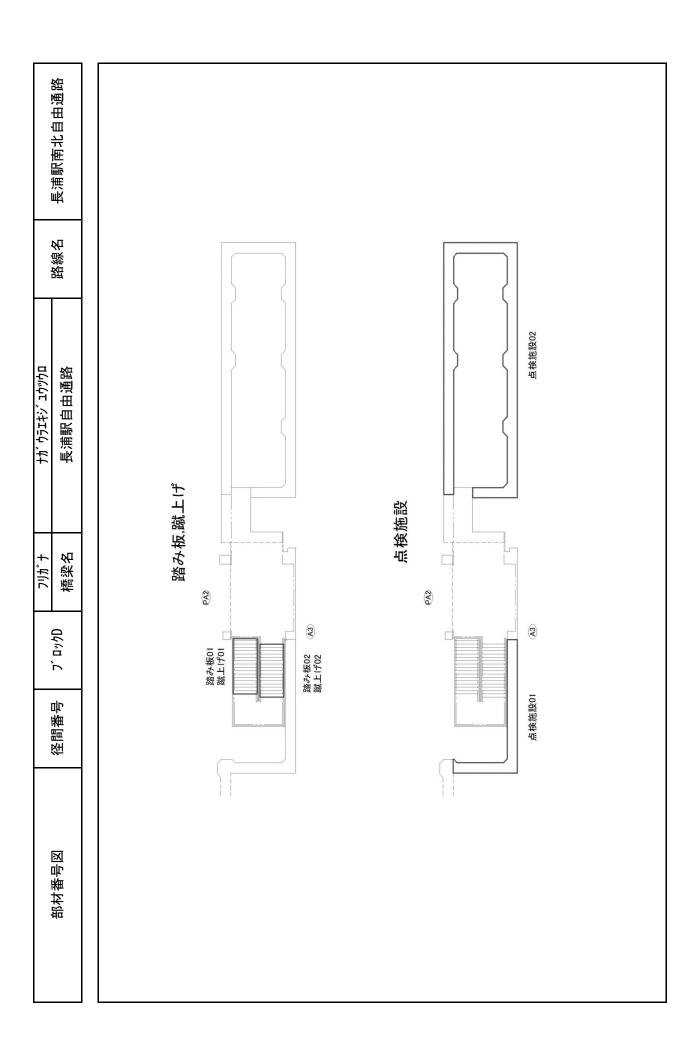


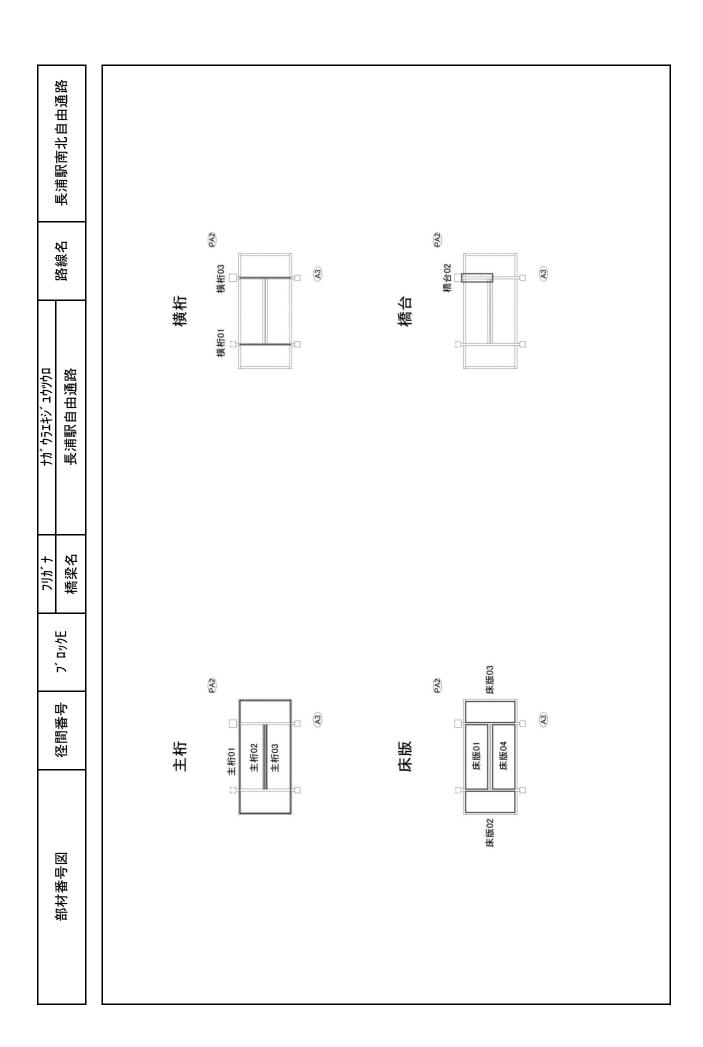
如材米中図			7114" +	コート コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コ			
	径間番号	7° ¤70	橋梁名	長浦駅自由通路	1000	路線名	長浦駅南北自由通路
			土	뜻			
		主桥02 主桥04 主桥04	PA2	主括01			
			横桁	个			
			&	横桁02 横桁02	横桁03		
	横桁印	養析 (A3)	横400			3	

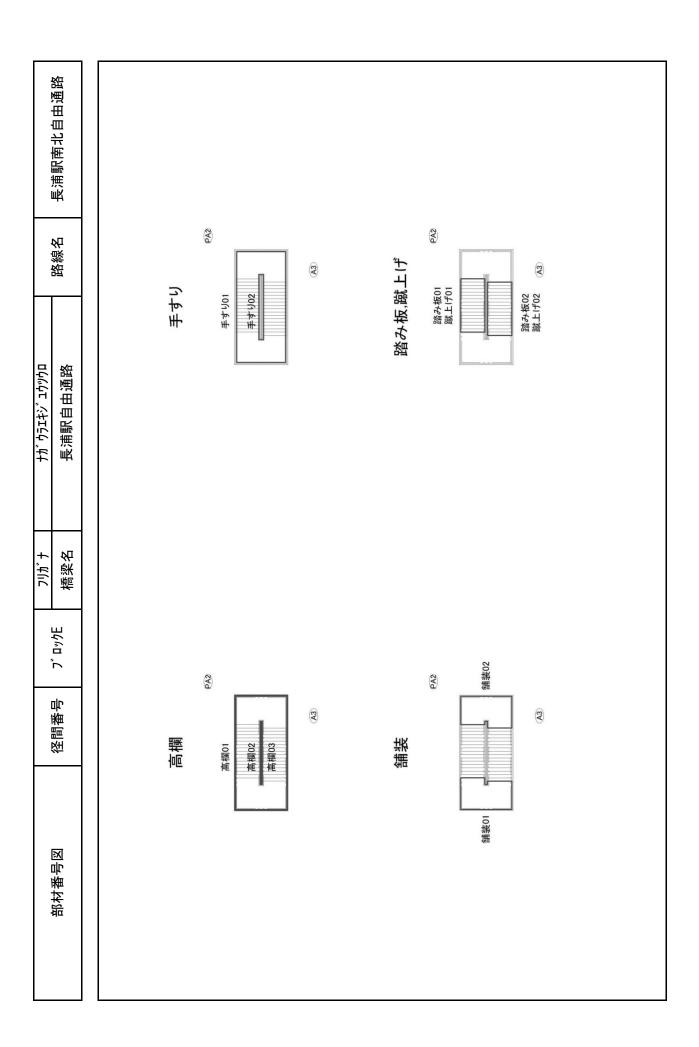












## 27. 久保田跨道橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	]等						
棒沙女			<b>安</b> 等 对	<b> </b>		記 梅度	35° 26′ 56.65″	橋梁ID
<b>¥</b>			#H 11/3K 7H	コナコーバ		<b>严™</b> №度	140° 00′ 46.08″	35.44907,140.01280
久保田跨道橋 (フリガナ)クボ	久保田跨道橋 (フリガナ)クボタコドウキョウ	<b>ا</b> ب	法定外道路	袖ケ浦市久保田2028-1地先				
管理者名			定期点検実施年月日	ョ 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.12.21	平成通り	有	一般道	三次	<b></b>
部材単位の記	诊断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		(Ⅱ~Ⅰ)	変状の種類 (エ以上の場合 (こ記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	上	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

路面の凹凸、土砂詰まり 写真1-3 舗装

 $\blacksquare$ 

舗装に路面の凹凸、土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
上的	49m	2.50m
橋梁形式		
PC斜材付き変形	エ型ラーメン	'橋(中空床版)、不明





国出

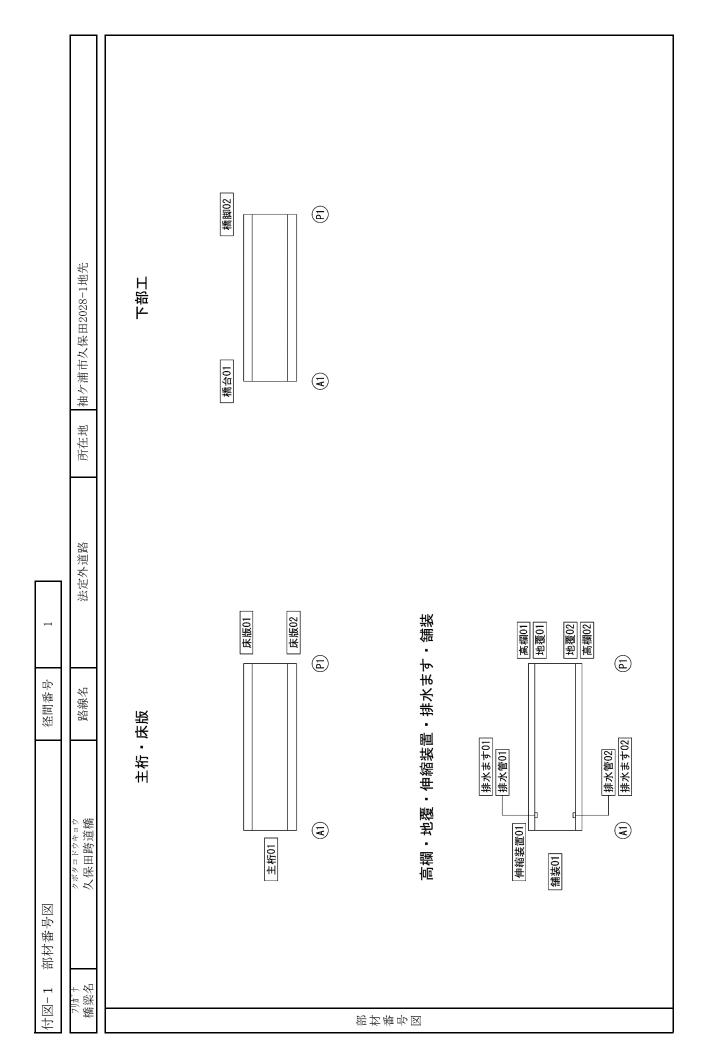
終点側

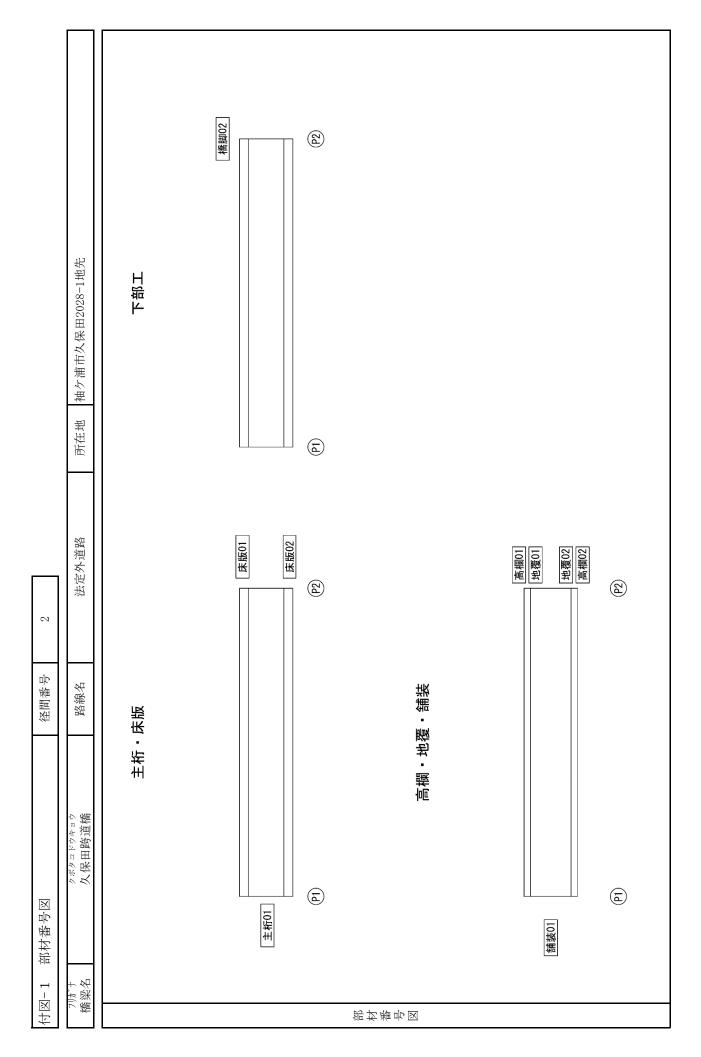
起点側より

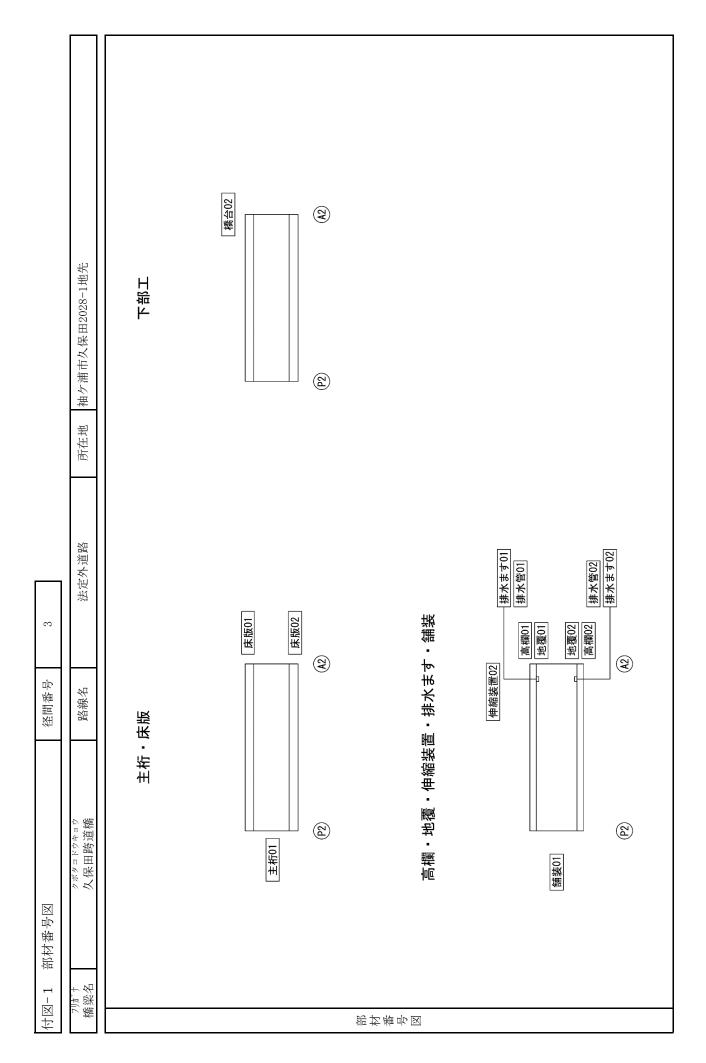
※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

写真1の近接 (段差60mm) その他(舗装) [判定区分: 判定区分 9 \$ t & Z L 1 6 8 Z 9 \$ t 8 d 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 路面の凹凸 土砂詰まり 雏羰 雏粉 2径間 3径間 (判定区分: その他(舗装) 写真3 写真1







## 28. 長浦駅歩道橋(旧自由通路)

横断步道橋名·所在地·管理者名等

	(英의) 2 년 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11				
	横断歩道橋名	路線名	所在地	設置位置	緯度   35°27′00″ 歩道橋D 経度   139°59′44″   35.45000,139.99556
長浦駅歩道橋(旧自由通路) (フリガナ)ナガウラエキホドウキョヴ	長浦駅歩道橋(旧自由通路) (フリガナ)ナガウラエキホドウキョウ(キュウジユウツクロ)	法定外道路	千葉県袖ケ浦市蔵波47	7	
	管理者名	П		4 4 4 4 4	¥
千葉県袖ケ浦市		人 垫 示 钕 米 筒 牛 厶 口	口0	<b>片</b>	0日   イ 払 に な か と (株) 条 名 編 一 翌
代替路の有無	緊急輸送道路		占用物件(名称	名称)	
無	三次		I		

部材単位の診断(部材毎に最も厳し、健全性の診断結果を記入)

			定期点検時に記録			応急措置後に記	(二記録
部材名	.名	判定区分(1.1.1.7.7.7.7.1.1.1.7.7.7.1.1.1.7.7.7.7	変状の種類(π ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι ι	備考(写真番号、位置等が分かるトラーション)	応急措置後の	<b>応急措置内容</b>	応急措置及び判定
		$(I \sim IV)$	(エダエの変句に記載)		(H		<b>夫旭</b> 平月口
	主桁	Ι					
上部構造	横桁						
	床版等	I					
28 下部構造		Ι					
階段部		П	その他	写真1,2 橋台			
その他		П	ゆるみ・脱落、うき	写真3,4,5 手すり、高欄、舗装			

横断歩道橋毎の健全性の診断(対策区分 I ~IV)

	(判定区分) (所見等)
--	--------------

記載すること)	通路幅員(m)	6.4
』、終点側を記	橋長(m)	237
全景写真(起点側	架設年次※1	1991年

20.7			
1001	黄断步道橋形式	下明	

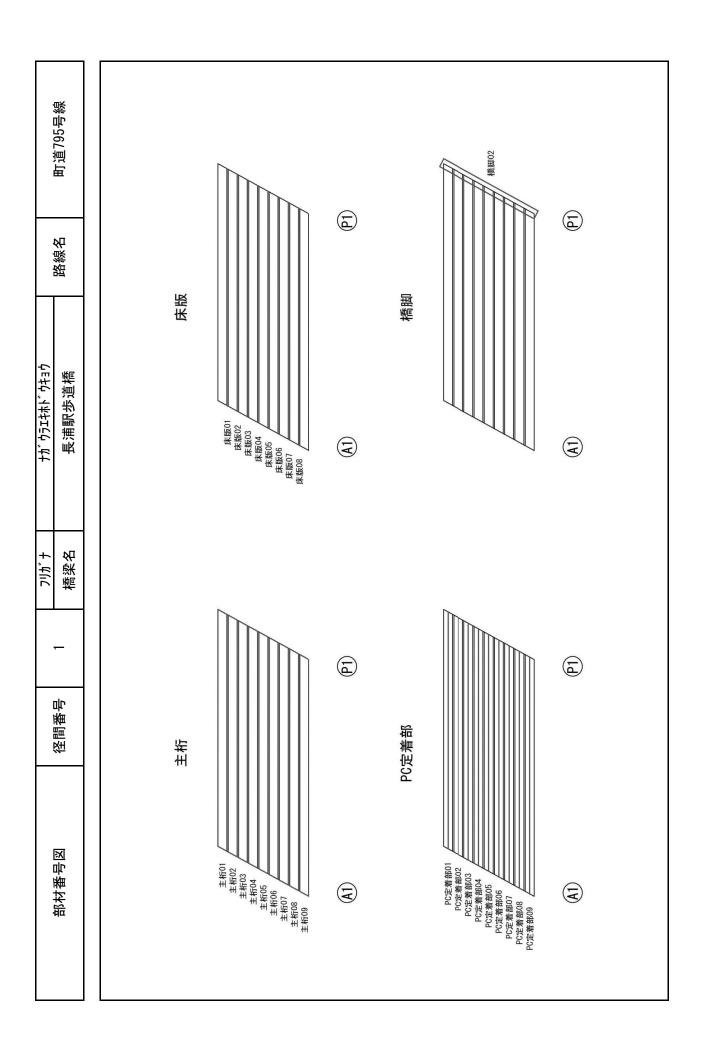




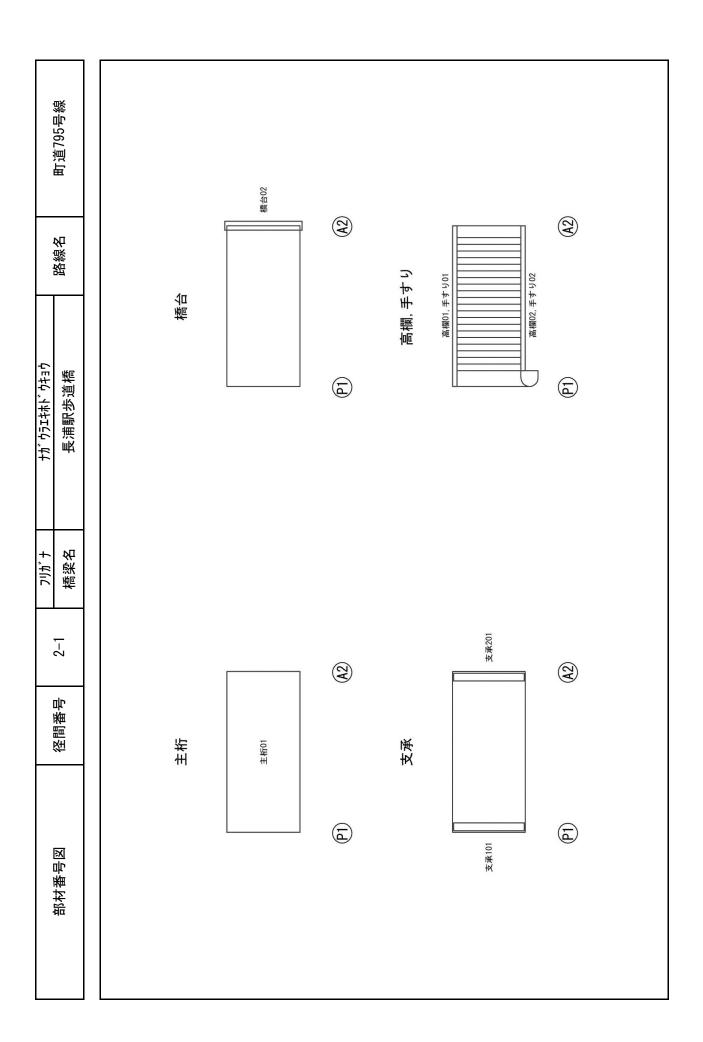
※1:架設年次が不明の場合は「不明」と記入とする。

その他(不法占有) (2径間) (1径間) きき **驴** 階段部(橋台) 【判定区分: 判定区分 楠山 その他(高欄) 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 「写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 「写真は、不具合の程度が分かるように添けすること。 写真4 (2径間) ゆるみ・脱落 (1径間) 橋台 その他(落書き) 判定区分: 手すり その他(手すり) 写真3

判定区分 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装) 【判定区分: II】 ゆるみ・脱落(ガードパイプのボルトの脱落) (1径間) (判定区分 舗装



フリゾナ     力が ウエオド 休 うり       イ 様変名     長浦駅歩道橋   B 終名	高欄, 手すり	支承200       支承209       (P1)	舗装	(中編装置05 編装(1)	(F) (A)
径間番号     1     梅梁名	支承	支承207 支承208 支承209	伸縮装置		(L)
部材番号図	支承101 支承102 支承102 支承103 支承105 支承106	支承107 支承108 支承109 (A1)	申	伸縮装置01	(A1)



町道795号線			(A2)
路線名			⟨ <b>4</b> ⟩
	蹴上げ	歌 上 f	
ガが かなれが かまか 長浦駅歩道橋	<u>85</u>	096	
加がナ橋梁名			
2-1			( <del>A</del> )
径間番号	踏み板	00 145 145 X84 X84	
部材番号図	624	034	

路線名 肝道795号線				(A2)	411	養台0.2	(A2)
ナカ゜ウラエキホト゜ウキョウ	長浦駅歩道橋	床版	床版01 床版02 床版03 床版04	(b)	· 一种		(F)
7 ነ ነ ነ ተ	橋梁名						
				(A2)	££		(A2)
部材番号図 经晶体		主	主桥02 主桥03 主桥04 主桥05	(F)	PC定着部	PC定着部01 PC定着部02 PC定着部03 PC定着部04	(PT)

路線名	h-		(A2)				
ナガウラエキホドウキョウ 長浦駅歩道橋	高欄, 手すり	高橋01, 手すり01 高橋02, 手すり02					
2-2 橋梁名		支承201 支承202 支承203 支承204 支承204	(A2)			<b>(S</b> )	
径間番号	长			舗装	a数数0.1		
部材番号図		支承101 支承102 支承103 支承105					

# 29. 令和新川橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名·所在地·管理者名等	地 管理者名	3等						
括沙夕			12久 40 夕			おら側に権度	35° 26′ 18.78″	橋梁ID
10000000000000000000000000000000000000			IT NA TI	가고관		<b>是</b> 解度	139° 57′ 03.17″	35.43855,139.95088
令和新川橋 (フリガナ)レ	令和新川橋 (フリガナ)レイワシンカワ <i>い</i> シ	٠\ ا	南袖神納線	袖ケ浦市奈良輪字新畑1719-2	ı <b>-2</b>			
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	1 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.12.25	三旦飲	卓	一般道	三次	上水道、東京電力
部材単位の言	诊断(各部材每	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	计	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		Ι						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

一個員	18.00m		式橋台2基
橋長	45m		·成飯桁、逆Tī
架設年次	2021年	橋梁形式	鋼単純非合成





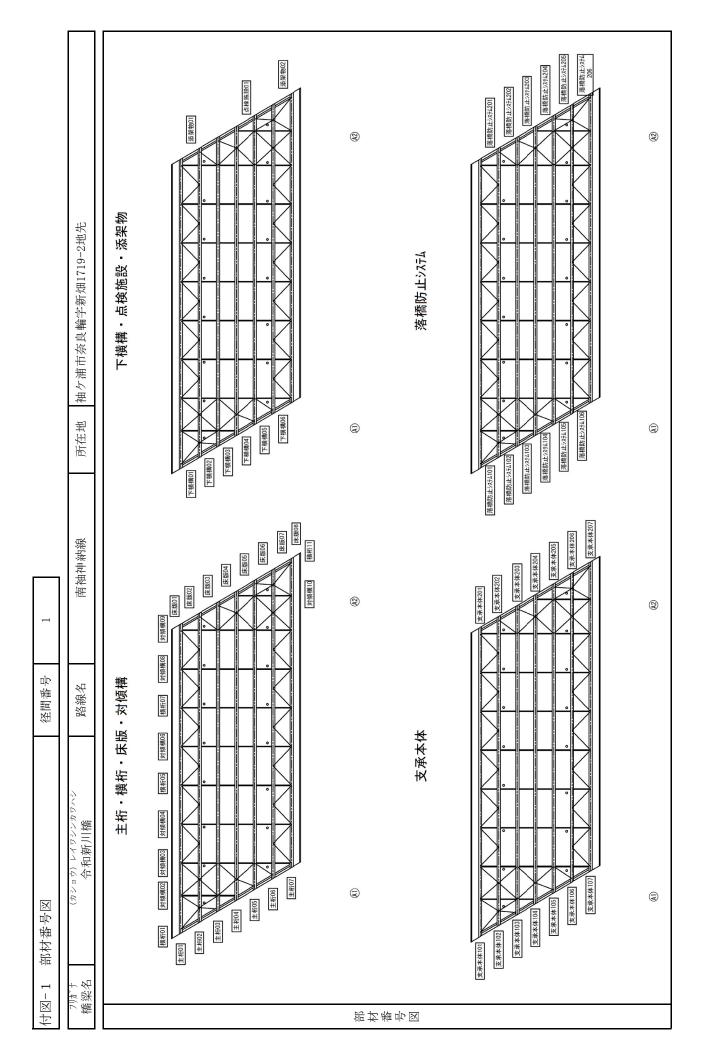
終点側

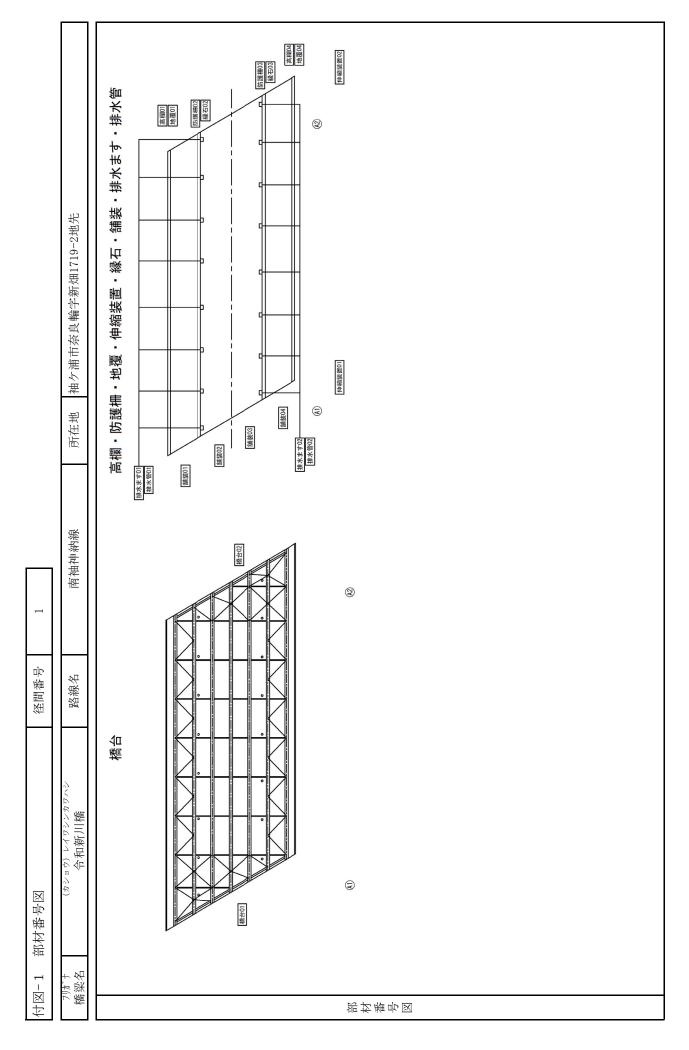
起点側より

担担

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:





#### 30. 勝前田橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左地, 等理考2 筆

椅梁名 所	橋梁名 · 所在地 · 管理者名等	等						
極沙名			<b>岁</b>	昨在 地		記 韓度		橋梁ID
4				27 IV		<b>严</b>	140° 01′ 06.20″	35.41330,140.01839
勝前田橋 (フリガナ)ナ	券前 田橋 (フリガナ)カツマエダバシ		勝1号線	袖ケ浦市勝97-2地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.14	岩井第二雨水幹線	有	—般道	三次	<b></b>
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	などに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	己錄		
部材名		判定区分 (I~Ⅳ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	<b>上</b>	Ι						
	横桁							
	床版							
下部構造		Ι						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

帽員	4.70m		<u> </u>
橋長	3m		クスカルバ
架設年次	上	橋梁形式	預場 打ちボツ





国田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

	所在地 袖夕浦市勝97-2地先	防護柵·地覆·舗装	D方護 細03   D方護 細01   D方護 細01   D	D			
1	勝1号線						
径間番号	路線名					橋台02	
部材番号図	カツマエダバシ 勝前田橋	主桁	主桥01	(A1) (A2)	工%上	播台01	
付図-1 部	7九,十 橋梁名			- - -	拉箍号図		

#### 31. 勝丸の内橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名·所在地·管理者名等	<b>對名等</b>						
<b>                                      </b>		收绝夕			お 早 相	35° 24′ 39.85″	橋梁ID
₽ 		LD 세계 기기	37.TLV		<b>严™</b> 解度	140° 01′ 03.68″	35.41107,140.01769
勝丸の内橋 (フリガナ)カツマルノウチバシ	チバシ	飯富29号線	袖ケ浦市大曽根432地先				
管理者名		定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市		2024.2.14	岩井第二雨水幹線	有	—般道	三次	#
   部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	オ毎に最も厳しい健全性の	の診断結果を記入)		<u>n</u> ≺	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	メント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録				応急措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造 主桁	Ι			,			
横桁							
床版							
下部構造	Ι			,			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



5.70m 





※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

	袖ケ浦市大曽根432地先	防護柵・地覆・舗装	防護柵01			
	所在地					
	飯富29号線					
径間番号	路線名				橋台02	
部材番号図	カツマルノウチバシ 勝丸の内橋	井	主析501 (A1) (A2)	工婦上		(A1) (A2)
付図-1 部本	<u>フルデ</u> ナ 橋梁名		<b>能</b>	<b>海</b>		

#### 32. 勝井戸田 2 号橋

別紙2 様式1様式2 極沙々, 昨左地, 等理考2 筆

橋梁名 所名	橋梁名•所在地•管理者名等							
<b>棒沙</b> 夕			及约及			护占側 緯度	35°24′30.82"  橋梁ID	橋梁ID
₩ ₩			#Filim 시크	新工化		<b>严</b> №度	140° 01′ 00.84″	35.40856,140.01690
勝井戸田2号橋 (フリガナ)カツィ	券井戸田2号橋 (フリガナ)カツイトダニゴウ <i>バ</i> シ	رې،رخ	飯富22号線	袖ケ浦市大曽根432地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.14	岩井第二雨水幹線	有	—般道	三次	不明
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	などに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	二家		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

	7.00m		<b>ゾー</b> ト
橋長	2m		キャストボックスカル
架設年次 橋長 幅員	2014年	橋梁形式	プレキャストオ



終点側



国田

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

(判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

	1 柚ケ浦市大曽根432地先	(内護神の
	飯富22号線 所在地	本語
部材番号図	カッイトダニゴウバシ 路井戸田 2 号橋	主析
付図-1 部材	7リがチ 橋梁名	2

### 33. 無名橋(83)

別紙2 様式1様式2

橋梁名,所在地,管理者名等	地 管理者名	*:						
極浮名			路線名			起占 網 韓度	35° 24′ 24″	橋梁ID
1						<b>//                                     </b>	140° 04′ 10″	35.40667,140.06944
無名橋(83) (フリガナ)ム	メイキョウ(ハ	無名 橋(83) (フリガナ) ムメイキョウ(ハチジュウサン)	川原井林線	袖ケ浦市川原井431地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.13	[公	有	一般道	三次	<b></b>
部材単位の記	诊断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に言	に記録		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
SS 下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

舗装に土砂詰まりが生じているが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



幅員	34.50m		<u>/-/</u>
橋長	5m		シックスカルバ
架設年次	不明	橋梁形式	プレキャストボ





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 土砂詰まり 雏羝 判定区分

			(A2) 上地覆02 (防護柵02)			
	袖ケ浦市川原井431地先	防護柵・地覆・舗装	= # # # # # # # # # # # # # # # # # # #			
			地覆01 防護補01			
	所在地		到图			
	川原井林線					
1			(A) (A2)		(A2)	(A)
径間番号	路線名					
部材番号図	ムメイキョウ(ハチジュウサン) 無名橋 (83)	土	主桁01	<b>工</b>	橋台02	[播台0]
付図-1 音	71がナ 橋梁名					
4	*		Į.	四谷垂科四		

# 34. 無名橋(84)

別紙2 様式1様式2 棒渉クニケル 無

橋梁名 所	橋梁名·所在地·管理者名等	*:			,			
椿淡名			路線名	<b> </b>		起点側 緯度	35° 24′ 18.40″	
I			I			<b>/</b>	140° 04′ 13.55″	35.40511,140.07043
無名橋(84) (フリガナ) <i>1</i>	無名橋(84) (フリガナ)ムメイキョウ(ハチジュウヨン)	チジュウヨン)	川原井林線	袖ケ浦市川原井412地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	首 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.13	ll(24	有	一般道	三次	#
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	ゴニ記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I			,			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

腐食、破断、うき、欠損 写真1、2 防護柵

Ħ

**防護柵基部に腐食、破断、うき、欠損が見られるが、道路橋の機能には支障が生じていない状態である。** 

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	帽員
不明	шg	27.90m
喬梁形式		
プレキャストポ	ボックスカルバ	<b>ヾート</b>





※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

破断、欠損 腐食、 その他(防護柵) 【判定区分: 田 防護柵 判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 久損 うき 破断、 防護柵 腐食、 判定区分 その他(防護柵) 写真1

	所在地 袖ケ浦市川原井412地先	高欄・防護柵・縁石・地覆・舗装	[舗装01] [舗装02] (A2)	地覆01     線石02     地覆02       防護柵01     高欄02			
	川原井林線		(A2)	(A1)		(A2)	(A)
径間番号	路線名						
部材番号図	ムメイキョウ(ハチジュウヨン) 無名橋 (84)		重桁01		工婦工	橋台02	
付図-1 部	7jがチ 橋梁名						
4	)、体			<u>র্</u> ষ	5村番中図		

### 35. 無名橋(85)

別紙2 様式1様式2 棒渉タニケ地 毎期

橋梁名 所名	橋梁名·所在地·管理者名等	]等						
括沙夕			收約夕			おら側 緯度	35° 24′ 12.64″	橋梁ID
10米中			近沙大石	레스크다(VI		<b>是</b>	140° 04′ 17.36″	140° 04′ 17.36″   35.40351,140.07149
無名橋(85) (フリガナ) 4	無名 橋(85) (フリガナ) ムメイキョウ(ハチジュウゴ)	チジュウゴ)	川原井林線	袖ケ浦市林5地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	首 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.13	松川	有	一般道	三次	<b></b>
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1 防護柵

変形, 欠損

防護柵の反射板に欠損が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



幅員	23.40m		リレバート
橋長	5m		シクスナ
架設年次	不明	<b>喬梁形式</b>	プレキャストボ



起点側



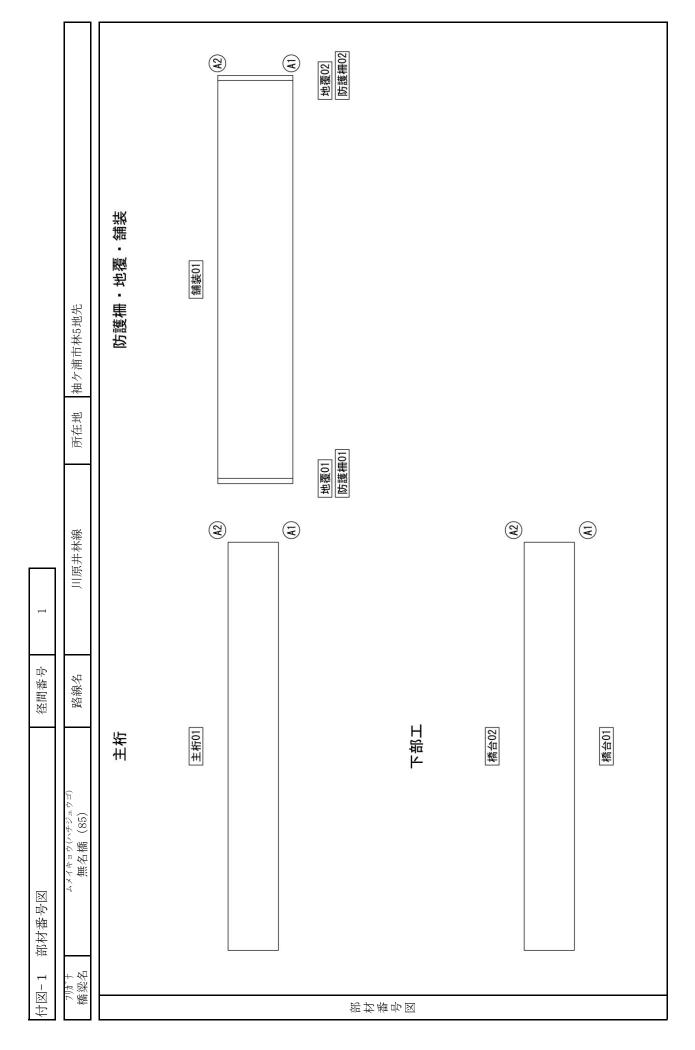
起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造 支承部 その他

床版

判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(防護柵)【判定区分: II】 変形・欠損 防護柵 判定区分



# 36. 無名橋(86)

別紙2 様式1様式2 棒渉タニケ地 毎期

橋梁名-所4	橋梁名 所在地 管理者名等	]等							
吞沙夕			1女给 夕	         		おら側 緯度	35°	24' 09.72"	橋梁ID
10米			교 기까지 그리	到されば			£ 140° 04′ 19.34″		35.40270,140.07204
無名橋(86) (フリガナ) 1	無名橋(86) (フリガナ)ムメイキョウ(ハチジュウロク)	チジュウロク)	高谷林線	袖ケ浦市林43地先					
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自專道or一	-般道 緊急輸送道路	关道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.13	III W	有	—般道	三		無
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	コンサルタ	ント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	己録			
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	<b><u>後</u>の</b> う	応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版								
下部構造		I							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	Зm	11.40m
喬梁形式		
プレキャストボ	ヤストボックスカルバ	<b>/-</b> /





国出

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部その他

判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分

		編集 高欄01 地覆01 防護柵01	DD		
	袖夕浦市林43地先	高欄 · 防護柵 · 地覆 · 舗装 [	翻装03 (A1) (A2)		
	所在地	144	#		
1	高谷林線				
径間番号	路線名			稽台02	
部材番号図	ムメイキョウ(ハチジュウロク) 無名橋 (86)	主桁	(A) (A2) (A2) H 計計	精台01	(A) (A2)
付図-1 部	7JV.† 桶梁名		<b>哲</b> 友 梅 小 [	<b></b>	

## 37. 百目木蔵之助橋

別紙2 様式1様式2

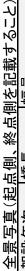
橋梁名·所在地·管理者名等	也•管理者名	等						
<b>香沙</b> 夕			及缺处			却 占 側 韓度	35° 22′ 26.90″	橋梁ID
<b>₹</b>				카그		に 一部 一部 を を を を を を を を を を を を を	140° 02′ 25.26″	35.37414,140.04035
百目木蔵之助橋  (フリガナ)ドウメキクラノスケバシ	橋  メキクラノス	ケバシ	百目木4号線	袖ケ浦市百目木856地先				
管理者名			定期点検実施年月日	1 路下条件	代替路の有無	自專道or一般	般道 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.14	常盤川	卓	— 船道	三次	<b></b>
部材単位の診	断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	:記錄				応急措置後に記録	记録		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1舗装

土砂詰まり

舗装に土砂詰まりが生じているが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



6.40m 幅員 **'レキャストボックスカルバート** 2m 橋長 2018年 橋梁形式 架設年次





正国

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 土砂詰まり 雏茶 判定区分

		NA.	5万護埔01	防護柵02			
	3地先	防護柵・舗装					
	袖夕浦市百目木856地先	祝	<b>舗装01</b>				
	所在地						
	百目木4号線						
1	田					[Z]	
径間番号	路線名	lb.		(A)	Э	橋台02	( <b>A</b> 2)
	ドウメキクラノスケバシ 百目木蔵之助橋	主桁	主杯01	( <del> </del>	T H H H H H H H H H H H H H H H H H H H	播台01	[]
付図-1 部材番号図	<b>개が</b> 橋梁名			岩	<b>大海中区</b>		

## 38. 無名橋(136)

別紙2 様式1様式2 棒渉タニケ地 毎期

橋梁名 所名	橋梁名 所在地 管理者名等	]等						
<b>極深名</b>			路線名	所在地		起点側標度	35° 24′ 11″	橋梁ID
							140 04 19"	35.40306,140.07194
無名橋(136) (フリガナ)ム	) メイキョウ(ヒャ	無名橋(136) (フリガナ)ムメイキョウ(ヒャクサンジュウロク)	川原井林線	袖ケ浦市林39地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	首 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.13	11(公	有	—般道	三次	祟
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	(こ言)録				応急措置後に記録	二家		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	19.46m		ノート
橋長	шg		ボックスカル
架設年次 橋長 幅員	不明	橋梁形式	プレキャストナ





国田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部その他

判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

			(舗装02) (A2)	高橋02				
	袖ケ浦市林39地先	高欄・防護柵・縁石・舗装	(舗装)					
	所在地			防護柵01				
	川原井林織		(A2)				(AZ)	(A1)
径間番号	路線名					ш		
部材番号図	ムメイキョウ(ヒャクサンジュウロク) 無名橋 (136)	主桁	主桁01			工婦 上	橋台02	椿台01
	7157.寸 橋梁名				智友審小	<b>X</b>		

## 39. ボックスカルバート⑧

別紙2 様式1様式2

橋梁名·所在地·管理者名等						
<b>括</b>	4 6 4 4	<b>胎</b> 女		およる 権度	35° 23′ 08″	橋梁ID
10米中		기 II 기반		たら 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	140° 02′ 37″	140° 02′ 37″ 35.38556,140.04361
ボックスカルバート⑧		地人演士二年1018 1014 A				
(フリガナ)ボックスカルバートハチ	二直口石称	作ン、用口=固1042-1026万				
管理者名	定期点検実施年月日  路下	路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	道 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2024.2.14	水路	有	—般道	三次	上水道

雄一郎 応急措置及び 判定実施年月日 開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 応急措置内容 定期点検者 応急措置後の 判定区分 **応急措置後**/ 備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載 変状の種類 (エ以上の場合 に記載) 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入) 道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 判定区分 (I~IV) 横桁 床版 **川** 定期点検時に記録 定期点検時( 上部構造 下部構造 支承部 部材名 その街

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。 (所見等) 判定区分)

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 曽쁴 橋馬 架設年次







終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

	所在地 袖ケ浦市三箇1042-10地先	防護柵・地覆・舗装	1			
1	三箇15号線					
径間番号	路線名		(A2)		橋台02	(A2)
部材番号図	ボックスカルバートハチ ボック スカルバート®	十 十	(A1)	<b>工</b> 编上		(A)
付	<u>フリが</u> ナ 橋梁名		<b>岩</b>	中区		

## 40. ボックスカルバート③

別紙2 様式1様式2

橋梁名·所在	橋梁名·所在地·管理者名等	]等						
棒孪名			路線名	- - - -		起 梅度	26′	橋梁ID
1						<b>产</b>	140° 01′ 57″	35.44278,140.03250
ボックスカルバート③ (フリガナ)ボックスカ)	ボックスカルバート③ (フリガナ)ボックスカルバートサン	ートサン	代宿横田線	袖ケ浦市久保田代宿入会地1-55地先	11-55地先			
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	3 路下条件	代替路の有無	自専道の一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2024.2.14	久保田川	有	—般道	三次	<b>半</b>
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	ニ記録				応急措置後に記録	記録		
部材名		判定区分 ( I ~ I )	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

雏粉

写真1、2

土砂詰まり

舗装に土砂詰まりが生じているが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



幅員	27.70m		ルバート
橋長	3m		シクスカ
架設年次	不明	橋梁形式	プレキャストボ





国田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その色

土砂詰まり 舗装 その他(舗装) [判定区分: 判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 土砂詰まり 雏羰 判定区分 その他(舗装) 写真1

